

下天秤等ノ區別アリ

秤ノ構造ハ精ナルト、粗ナルトアレトモ其理ハ皆同シ、吊下天秤ノ大要ハ左ノ如シ

臺ノ中央ニ一箇ノ金屬製柱ヲ立テ其ノ上端ニ平滑ナル瑪瑙板或ハ鋼鐵板ヲ附著シ之ニ桿ノ及部ヲ載ス、及ハ桿ノ中央ニ在リテ鋼鐵若ハ瑪瑙製ノ三角塊體ヲナシ其ノ尖稜ハ下方ニ向フ即チ桿ハ銳キ及ノ尖端ヲ滑カナル支柱ノ一端ニ置クヲ以テ桿ハ自由ニ動搖スルコトヲ得ヘシ桿ノ兩端ニ皿ヲ吊ル其ノ皿ニハ金屬若ハ角製ノモノアリ桿ハ常ニ水平ニ位置シ之ニ取著ケタル指針ト支柱ノ下端ニ具フル目盛板ノ零點トハ常ニ一致スルヲ要ス桿ノ位置正シカラサレハ別ニ之ヲ矯正スル裝置アリ

秤ニハ秤量、感量ヲ刻ム、秤量ハ秤ノ量定シ得ヘキ最大量ヲ云ヒ、感量ハ其ノ最少量ヲ云フ即チ此ノ極限ヲ超ヘテ物ヲ量ルコトヲ得ス

秤ニハ重錘ヲ附屬ス之ニ大小數箇アリ、大ナルモノハ黃銅製圓塊狀ニシテ、小ナルモノハ方形若ハ三角形ノ金屬板ナリ何レモ其ノ上面ニ數量ヲ刻ム

秤及重錘ハ政府ノ檢定アルモノヲ使用スヘシ

秤ヲ使用スルニ方リ注意スヘキ事項概ネ左ノ如シ

- 一 秤及重錘ハ清潔ニ保チ鄭重ニ取扱ヒ狂差ヲ生セシメサルヲ要ス之ヲ淨ムルニハ羽箒ヲ用キテ塵ヲ去リ乾キタル清潔柔軟ナル「ガーゼ」ニテ輕ク拭フヘシ磨粉又ハ眞鍮磨等ニテ研磨スヘカラス
- 二 秤ハ振動ヲ受ケサル水平ノ臺上ニ安置スヘシ、秤ニハ吊球ヲ下ケ或ハ水準器ヲ取著ケテ其ノ位置ノ水平ナルヤ否ヤヲ知ル裝置アリ、秤ノ位置若シ水平ナラサルトキハ之ヲ矯正スヘシ
- 三 秤ノ指針ハ常ニ正面ヨリ望ムヘシ
- 四 重錘ヲ取扱フニハ鑷子ヲ使用スヘシ

- 五 重錘及物質ハ常ニ皿ノ中央ニ載スヘシ、重錘多數ナルトキハ其ノ中最モ重キモノヲ中央ニ致スヘシ
- 六 吊下天秤ニ重錘又ハ物質ヲ載セ或ハ之ヲ取去ルトキハ必ス桿ヲ固定シ置クヘシ
- 七 數種ノ藥物ヲ秤量スルニハ少量ノモノヨリ始メ逐次大量ノモノニ及フヘシ、然ラサルトキハ秤ノ感覺ヲ鈍カラシム
- 八 物質ヲ秤量スルニハ左方ノ秤皿ニ重錘ヲ載セ右方ノ秤皿ニ秤量スヘキ物質ヲ載スルヲ法トス
- 九 藥物ハ直接ニ秤皿ノ上ニ載スルコトナク藥包紙又ハ適宜ノ容器ニ盛リテ量ルヘシ、此ノ場合ニハ豫メ風袋ヲ秤量シ置クカ或ハ風袋錘ヲ用キテ平衡セシメ置クヲ要ス
- 第八百三十 拔栓子 瓶ノ木栓ヲ抜クニ用キラル之ヲ使用スルニ方リ錐尖部ハ眞

直ニ木栓ニ捻込ムヲ要ス

- 第八百三十一 乳鉢 磁製若ハ硝子製ノモノアリ、其ノ形碗ノ如シ周壁厚ク堅牢ニシテ通常上縁ノ一側ニ小ナル開口ヲ有ス外面ハ滑カニシテ内面ハ概ネ粗ナリ、乳棒ヲ附屬ス

藥ヲ摺リ或ハ捏合スルニ用キラル

- 第八百三十二 筥 通常薄キ彈力アル細長ノ鋼鐵片ニシテ其ノ一端ニ木柄ヲ具フ、膏藥其ノ他之ニ類スル藥ヲ取扱フニ用キラル金屬ヲ侵ス藥物ニ對シテハ角製ノモノヲ使用ス

- 第八百三十三 調劑用滅菌器 釜及焜爐ヨリ成リ別ニ金網籠ヲ附屬ス、釜ハ水量管、驗温器及乾燥裝置ヲ具フル銅製有蓋ノ二重壁圓筒ニシテ其ノ下方ニ火袋ヲ具フ、炭火ヲ用キテ加熱ス、藥液若ハ調劑器械等ヲ滅菌スルニハ此等ノ物件ヲ金網籠ニ容レ釜中ニ投シ約四十分時間百度ノ流走蒸氣中ニ熱スヘシ又消毒物件ヲ乾燥スヘ

キ必要アルトキハ蒸氣噴出口ヲ閉チ乾燥用瓣ヲ開キテ更ニ加熱スヘシ

第八百三十四 丸藥器 截丸器、展延板及成丸器ヨリ成ル

截丸器ハ細長ナル上下二箇ノ有溝金屬板ニシテ各板ノ表裏兩面ニ半徑ヲ異ニスル溝二十乃至二十五條ヲ具フ各溝ハ互ニ平行セル半圓管狀ヲナシ其ノ中隔ハ銳及ヲナス上板ハ長軸ノ兩側ニ把手ヲ有シ其ノ内方ニ額縁アリ下板ハ上板ノ額縁内ニ嵌入シ各溝ハ上下相合シテ圓管ヲナス又下板ハ木製臺ノ廣キ溝ニ正シク嵌合シテ固定セラル木製臺ノ先端ニ盆ヲ挿入シ截リタル丸子ヲ受クルニ便ナラシム
截丸器ヲ使用スルニハ丸劑塊ヲ細桿狀ニ展延シテ截丸器ノ下板ニ載セ上板ヲ用キテ數回前後ニ滑ラシテ丸粒トナスヘシ
展延板ハ方形ノ平板ニシテ上面ニ把手ヲ有シ丸劑塊ヲ展延シテ細桿狀トナスニ用キラル

成丸器ハ木製ノ有縁圓盤ト把手ヲ有スル小形ノ有縁圓盤ヨリ成リ不正形ノ丸子ヲ

正圓滑澤ナラシムルニ用キラル

金屬ニ觸レテ變質スヘキ丸劑ヲ製スルニハ角製或ハ硝子製ノ丸藥器ヲ使用スルヲ

可トス

第三百三十五 藥 壺 略圓筒形ヲナセル磁製又ハ硝子製ノ有蓋壺ニシテ大小數種

アリ膏藥若ハ軟稠度ノ藥ヲ入ルルニ用キラル光ニ觸レテ變質スル藥ヲ盛ルニハ硝子製ノモノニアリテハ黃褐色又ハ黒ク塗リタルモノヲ用キラル

第八百三十六 篩 主要部ハ篩板及枠ヨリ成リ之ニ金屬製有蓋箱ヲ附屬ス

粉末藥及剉截シタル藥ノ大小ヲ擇リ分クルニ使用セラル篩眼ノ大サハ第一號ヨリ第六號ニ區分シ第一號乃至第三號篩ハ粗ク、第四號乃至第六號ノモノハ細カナリ

第八百三十七 風袋錘 微小ナル鉛丸ニシテ霰彈ト同シ、之ヲ金屬鐘ニ納ム

風袋ヲ平衡セシムルニ使用セラル

第八百三十八 膏藥板 表面ヲ摩リタル厚キ硝子板ニシテ膏藥ヲ煉合スルニ用キラル

第八百三十九 液量器 水若ハ之ト比重ノ等シキ液體ヲ量ルニ用キラルモノニシテ目盛アル圓筒形ノ硝子杯ナリ、其ノ上縁ノ一側ニ嘴ヲ具フ之ニ大、中、小アリ大ハ五百乃至千立方「センチメートル」、中ハ百乃至二百立方「センチメートル」、小ハ十乃至二十立方「センチメートル」ヲ量リ得ルモノトス

液量器ハ秤ト同シク政府ノ檢定アルヲ要ス
液量器ヲ使用スルニハ所要ノ目盛線ヲ眼ト同シ高サニ保チテ之ニ液體ヲ盛リ其ノ下弦面ト目盛線トヲ一致セシムヘシ

第八百四十 滴量瓶 共栓付硝子瓶ニシテ頸部ノ左右兩側ノ中央ヨリ下方ニ向テ各一箇ノ膨起セル部分アリ其ノ内面ハ窪ミテ細キ溝ヲナス栓ハ扁平ニシテ一側ニ突出セル嘴口ヲ具ヘ其ノ下面ニ横ニ細キ溝アリテ栓體ニ向フ此ノ溝ハ延テ栓體ノ下

方ニ達シ更ニ其ノ反對側ニ稍太ク深キ溝ヲ具フ瓶口ヲ栓塞シ溝線ヲ連絡セシムルトキハ瓶ノ内外相通ス嘴口ヲ下方ニ向テ瓶ヲ傾クルトキハ藥液ハ嘴口ヨリ點々滴下ス、滴ノ大小ハ液體ノ性質及氣壓ニヨリ差異アレトモ通常蒸餾水二十滴ヲ一「グラム」トス

第八百四十一 壓栓器 半圓管狀ノ溝ヲ具フル上下二箇ノ鑄鐵板ヨリ成リ其ノ一端ハ關節ニヨリテ開閉ス、上板ハ把柄ヲ具ヘ下板ハ木製臺ニ固著ス、木栓ヲ挾ミテ壓搾シ之ヲ柔軟ナラシムルニ用キラル木栓ヲ強ク壓搾スルトキハ之ヲ損スルコトアリ

第八百四十二 匙 金屬製或ハ角製ニシテ通常長キ柄ノ一端ハ木葉ニ似タル匙首ヲ具ヘ他端ノ反對側ニ耳匙ニ似タル小匙首ヲ具フ、固體ノ藥ヲ掬フニ用キラル金屬ヲ侵蝕スヘキ性アル藥ヲ取扱フニハ必ス角製ノモノヲ使用スヘシ

第八百四十三 「サイフォン」瓶 飽和劑即チ炭酸水等ヲ製スルニ用キル厚壁硝子瓶

ニシテ口部ニハ特製ノ栓ヲ嵌メテ瓦斯ノ漏出ヲ防ク、栓部ノ軸桿ヲ壓スレハ内容液ハ自然開口ヨリ噴出ス

之ヲ使用スルニハ瓶及栓口部ノ内外ヲ清潔ニ洗滌シ之ニ所要ノ炭酸「アルカリ」溶液ヲ入レテ瓶口ヲ栓塞シ次テ栓口部上層ノ空所ニ細末トナセル酸類ノ當量ヲ充填シ各部ヲ緊密ニ螺著シタル後瓶ヲ倒ニ冷水中ニ投入スヘシ斯クシテ炭酸瓦斯ノ發生止ミタルトキハ瓶ヲ水中ヨリ取出スモノトス

第八百四十四 剉藥器 木製臺上ニ取著ケタル押切ニシテ生藥類ヲ剉ムニ用キラル

第八百四十五 坐藥型 互ニ平行セル半圓錐形ノ溝條十箇ヲ有スル二箇ノ金屬板ヨリ成リ其ノ兩板ヲ閉合スレハ各溝ハ全圓錐形ヲナス之ヲ使用スルニハ各溝ノ内面ニ「オレトフ」油ヲ塗り之ニ融解シタル藥物ヲ注入シ氷上ニ於テ十分冷ヤシタル後各板ヲ開キ水ニテ濕セル手指ヲ以テ坐藥ヲ摘ミ取ルヘシ
又捏合シタル藥物ヲ圓筒ニ入レ之ヲ壓出シテ桿狀坐藥ヲ製スル器械アリ

第八百四十六 牛乳滅菌器 釜及混爐ヨリ成リ、別ニ金屬架ヲ附屬ス

釜ハ水量管及驗温器ヲ具フル銅製有蓋圓筒ニシテ炭火ヲ用キテ加熱ス、牛乳ヲ滅菌スルニハ耐熱性硝子瓶ニ牛乳ヲ盛り之ヲ金屬架ニ載セテ釜中ニ投シ約四十分時間百度ノ流走蒸氣中ニ熱スヘシ

第八百四十七 金屬鐘 形茶筒ノ如シ之ニ大小數種アリ内外面ヲ燒漆塗トナシ銹ヲ防ク生藥類ヲ貯フルニ用キラル

第八百四十八 藥 瓶 硝子製ニシテ大小數種アリ、口ノ廣キモノハ固形藥ヲ、口ノ細キモノハ液狀藥ヲ盛ルニ用キラル又稠度ノ濃キ液狀藥例之ハ油ノ如キモノヲ入ルルニハ帽附硝子瓶ヲ使用ス

帽附藥瓶ハ口部ノ周縁ヲ皿狀ニ擴大シ内ニ有嘴硝子管ヲ栓シ其ノ外方ヲ球狀ノ硝子帽ニテ覆ヒタルモノナリ

光ニ觸レテ變質スル藥ヲ盛ルニハ黃褐色又ハ黒ク塗りタルモノ用キラル

第八百四十九 浸煎劑器 重ネタル内外二鐘ヨリ成ル、外鐘ハ銅製ノ截圓錐形ノ釜ニシテ其ノ内面ニ鍍錫シ湯ヲ沸カスニ用キ、内鐘ハ重キ蓋ヲ具フル錫製圓筒形ノ藥鐘ニシテ外側ニ鍍ト木柄ヲ有ス、藥ヲ煎ルニ用キラル

第八百五十 井字杵 細キ木杵ヲ井字形ニ組合セ其ノ四邊ニ短キ釘ヲ立テ濾布ヲ懸ケ藥液ヲ濾スニ用キラル

第八百五十一 肉碎器 肉片ヲ細碎スル器械ニシテ其ノ主要部ハ鑄鐵製ノ圓筒、螺旋桿及篩板ヨリ成ル別ニ肉截刀及鏢ヲ附屬ス

圓筒ハ周壁厚クシテ内壁ニ概ネ八條ノ溝ヲ具ヘ其ノ一端ニ螺旋桿ヲ通スヘキ孔ヲ穿テ他端ハ開ケテ縁蓋ヲ具フ又筒ノ上方ニ橢圓形ノ廣キ口アリ肉片ヲ挿入スル所トス、螺旋桿ハ圓筒ノ内徑ニ適合スル大サヲ有シ其ノ前端ハ篩板ヲ貫キテ末端ニ翼車狀ヲナセル刀刃ヲ著ク之ヲ回轉スルニハ柄子ヲ使用ス篩板ハ多數ノ小孔ヲ穿テ爾鐵板ニシテ圓筒ノ縁蓋ニヨリテ固定セラル肉片ヲ圓筒ノ口ニ入レ螺旋桿ヲ回

轉セシムルトキハ肉片ハ螺旋桿ト筒壁トノ間ヨリ壓出セラレ更ニ翼車狀ノ刀刃ト篩板トノ咬合ニヨリテ細截セラル

此器ヲ使用スルニハ臺ニ取著ケ又肉塊ハ豫メ粗ク判截シ置クヘシ

第八百五十二 除濕器 金屬板製ノ圓筒ニシテ其ノ一端ニ濕度計ヲ附著セル圓キ蓋アリ、蓋ト圓筒トノ間ニハ「ゴム」輪ヲ挟ミ螺子ニテ固封ス、内ニ金屬盤及金網籠ヲ納ム、金屬盤ニハ適量ノ煨製石灰ヲ盛り金網籠ニハ貯藏スヘキ材料ヲ納ム煨製石灰ノ崩壞シタルモノハ除濕ノ効ナシ

濕氣ヲ引キ易キ藥物ヲ貯フルニ用キラル

第八百五十三 鐵 臼 鑄鐵製ノ臼ナリ、搗狀ノ重キ金屬棒ヲ附屬ス

固形藥物ヲ搗碎スルニ用キラル

第八百五十四 蒸餾器 蒸餾水ヲ製スル装置ニシテ其ノ主要部ハ釜、竈及冷却槽(水槽附)ヨリ成ル

釜ハ銅製ニシテ其ノ上部中央ニ錫製煙管狀ノ蒸氣導管ヲ附著ス其ノ末端ハ水ヲ盛リタル冷却槽中ノ錫製蛇管ノ口部ニ連ル、釜及冷却槽内部ニハ總テ錫鍍金ヲ施シ銅面ノ侵蝕ヲ防ク、釜ニ水ヲ注加スルニハ嘴口ヨリシ、釜中ノ水量ハ水量管ニヨリテ測ル、竈ハ鐵製ニシテ圓筒形ヲナシ側方ニ煙筒ヲ具フ

第八百五十五 湯煎器 釜狀ノ銅罐ニシテ其ノ上面ニ數箇ノ圓孔アリ各孔ハ大小數箇ノ環輪ヲ組合セタル眞鍮製ノ蓋ニテ覆フ内ニ水ヲ盛り炭火或ハ瓦斯焰ヲ用キテ加熱ス

液體ヲ蒸發シ或ハ物質ヲ加熱スルニ用キラル

第四 雜 具

第八百五十六 洋 燈 戰地ニ於テ主トシテ繙帶所ニ用キラルル燈器ナリ、金屬製ニシテ脚部ニ彈機裝置ヲ具フ、之ニヨリテ燃口ニ送風シ石油ノ燃燒ヲ幫ク、普通「ランプ」ノ如ク罩ヲ要セス、十數時間ノ連續使用ニ堪フ

第八百五十七 搜索燈(四十年式) 戰地ニ於テ夜間照明ニ用キラルルモノニシテ火

袋、蠟燭立、提手ヲ具フ、蠟燭立ハ金屬製圓筒ニシテ内ニ螺旋ヲ入レ蠟燭ノ燃ユルニ從ヒ自然ニ壓出セララルルノ裝置ナリ、之ニ用キル蠟燭ハ長サ十三「センチメートル」、直徑二「センチメートル」内外ノモノ用キラル

其他大正十四年式ノモノ二種アリ

第八百五十八 道 標 晒雲齋ニ手指ノ形ヲ染抜キ赤十字章ヲ縫著シタルモノニシテ道路上必要ナル地點ニ掲ケ道ノ方向ヲ示スニ用キラル

第八百五十九 著色板、著色提灯 衛生隊ニ於テ繙帶所ヲ設クルトキ各部ノ位置ヲ示スモノニシテ收容部ハ黄色、治療部ハ赤色、藥劑部ハ紫色、發送部ハ青色トス

第八百六十 濾水器(石地式) 囊、濾器等ヨリ成ル別ニ淨水藥甲乙二種及海綿若干アリ

囊ハ「ダック」製ニシテ其ノ上縁ニ折疊式金枠ヲ縫著シ下端ニ沈澱セル汚物ノ排除
口ヲ設ク又側方ニ濾器ヲ装置シタル淨水口アリ濾水器使用法ヲ附屬ス

第八百六十一 「ズック」製携桶 折疊式ニシテ其ノ上下兩縁ニ籐ヲ捲込ミ提手ヲ著
ケタルモノナリ

第八百六十二 國旗、赤十字旗 大小アリ、晒「ダック」製ニシテ其ノ兩面ニ緋金巾
ノ日章ヲ縫著シタルモノハ國旗ニシテ同質ノ赤十字章ヲ縫著シタルモノハ赤十字
旗ナリ、何レモ麻捻紐ヲ附シ圖ノ如ク掲揚スルモノトス

第五十五圖

第八百六十三 赤十字燈 角燈ノ型ヲナシ之ニ赤十字章附硝子板、滑車附螺旋釘、
丸打紐及寒地用替口金等ヲ附屬ス

第五 手術用天幕

第八百六十四 手術用天幕ハ戰地ニ於テ手術ヲ行フタメ使用スル幕舎ナリ

手術用天幕ノ構成部分及屬品左ノ如シ

鏡	尺	張網	杓	柱	幕體		鐵柱	木柱	天蓋及支臺各一附屬
					外幕	內幕			
一	一	小 大	小 中 大	二六	二	一	二	內二ハ桁用、四ハ出入口用	
		二四 四	二四 四						
			三八(內四ハ出入口用)						

- 方匙 一
 - 杵拔 一
 - 囊 四
 - 荷造網 二
 - 一 外幕 麻織布製茶褐色方錐形ノ幕ニシテ之ニ防腐劑ヲ施ス各底邊ノ長サ約七・二「メートル」ニシテ之ヲ建ツルトキハ高サ約四・三「メートル」面積五十三平方「メートル」ノ幕舎ヲ爲ス幕舎ノ相對スル兩面ニ出入口ヲ設ケ幕體ノ四隅ニ當ル所ニ張綱ヲ附著シ裾ニ麻紐製ノ環ヲ附ス
 - 二 內幕 屋蓋布及垂布ヨリ成ル
- 屋蓋布ハ白「キヤラコ」製ノ三角形ノ幕布二枚ヲ金屬製鉤ニテ連綴シ其ノ中心及周縁ニ紐ヲ著ケ中心部ハ鐵柱ノ遊走子ニ周縁ハ木柱ノ頭部ニ連結スルノ用ニ供ス屋蓋布ノ側面ニ圓形ノ換氣窓一箇ヲ設ケ曳綱ニヨリ之ヲ開閉ス

- 垂布ハ幕舎ノ内面ニ匝ラス晒雲齋製ノ長キ幕布ニシテ二枚ヨリ成リ其ノ上縁ハ金屬鉤ニテ屋蓋布ニ連結シ各木柱ニ當ル部分ハ留紐ニテ木柱ニ緊縛ス
- 三 鐵柱 太サヲ異ニスル二箇ノ接續スヘキ鐵管ニシテ大ハ長サ二・一五「メートル」小ハ長サ二・一八「メートル」アリ大柱下端ニハ圓錐形ノ鋼體ヲ固著シテ氷結シタル土地ヲ穿ツニ供ス、小柱ノ上部ニハ屋蓋布ヲ上下スヘキ滑車及遊走子ヲ附ス
 - 四 天蓋 鐵製圓板ニシテ其ノ中心ニ長キ軸アリ圓板ノ周圍ニハ張綱ハ小環狀鉤四箇ヲ裝著スヘキ裝置アリ
 - 五 支臺 圓形ノ鐵製板ニシテ大柱ノ下端及屋蓋布ノ曳綱ヲカクルニ供ス
 - 六 木柱 丸キ檜材ニシテ表面ニ白「ペンキ」ヲ塗り其ノ上端ニハ鐵製柱頭ヲ、下端ニハ鐵ヲ附ス
 - 七 桁 丸キ檜材ニシテ其ノ兩端ニ扁平ナル環ヲ附シ鐵製柱頭ニ嵌ム

八 杙 鐵製ニシテ其ノ横断面ハ丁字形ヲナス之ニ大、中、小ノ三種アリ
大、中ハ張網ヲ、小ハ幕體ノ裾ヲ留ムルニ用キラル

九 鋸 鐵製ニシテ木柄ヲ著ク頭及嘴端ニハ鋼ヲ鍛著ス嘴ハ鶴嘴ノ用ヲナス

十 方 匙 鐵製ニシテ木柄ヲ著ク及部ニ鋼ヲ鍛著ス溝ヲ掘リ地ヲ均スニ用キラル

十一 尺 綱 天幕ヲ建設スルニ方リ鐵柱及大、中杙ノ位置ヲ定ムルニ使用スルモノニシテ麻綱蕊入木綿紐ヲ大ナル三角形ニ結合シ之ヲ開張スルトキハ天幕ノ基礎面積四分ノ一ニ相當スル大サヲ有ス又鐵柱ノ位置ニ當ル三角形ノ頂端ニハ三角環ヲ附シ其他ノ二角ノ末端ニ結合セル環ハ大杙ノ位置ヲ示シ中杙ノ位置ハ小環ニテ示サル

十二 張 網 麻細引ニ防腐劑ヲ塗リタルモノニシテ之ニ大、小アリ何レモ一端ニ環、他端ニ留木ヲ附著ス、紐ヲ曳キ支フルニ用フ

十三 杙 拔 釘拔形ノモノニシテ其ノ兩脚ニ麻綱ヲ著ク之ヲ用フルニハ嘴頭ニ杙頭ヲ嚙マセ麻綱ヲ曳クヘシ

十四 囊 防腐劑ヲ塗リタル麻織布製ノ囊ニシテ之ニ内幕、杙其ノ他ノ屬品ヲ納ム格納區分左ノ如シ

甲 張網、尺綱、支臺、天蓋、杙拔

乙 杙(大、中)

丙 杙(小)、鋸、方匙

丁 内幕

十五 荷造網 防腐劑ヲ塗リタル麻細引ニシテ其ノ長サ約九「メートル」太サ小張網ニ同シ張網ナキトキハ之ニ代用スルコトヲ得

第八百六十五 天幕建設ノ順序左ノ如シ

一 位置ノ選定 手術用天幕ヲ建設スルニハ乾燥、開潤ニシテ各般ノ作業ヲ妨

ケサル平坦ナル土地ヲ選フヘシ、選定終ラハ地盤ヲ均ラシ成シ得レハ清淨ナル砂土ヲ敷キ又附近ニ光線ノ射入ヲ妨クヘキ樹枝アラハ之ヲ伐採スヘシ

二 要員 通常天幕ヲ建設スルニハ兵卒五名ヲ要ス、内一名ヲ組長トシ天幕建設ニ際シ之カ指揮ヲナスモノトス

三 作業開始 組長ハ先ツ要員ヲ整列シ番號ヲ呼唱セシメ次ニ風向、射光ノ良否、通路ノ關係等ヲ顧慮シ天幕出入口ノ方位ヲ定メ之ヲ指示スヘシ作業ニ著手セシムルトキ「掛レ」ノ號令ヲ下ス

組長以下全員ハ天幕ヲ建設地ノ附近ニ運ヒ梱包ヲ開キ尺綱、大杓、中杓、小杓、鉗、鐵柱、支臺、天幕、木柱、外幕、大張綱、小張綱、内幕、杓拔ノ順序ニ配列スヘシ、組長ハ尺綱ヲ持チ天幕建設地ノ中央ニ位置シ、尺綱ノ三角環ヲ地上ニ固定スヘシ一、二番ハ組長ノ所ニ至リ尺綱ノ末端ヲ握リテ左右ニ分レ一番ハ甲ノ位置ニ二番ハ乙ノ位置ニ馳セ組長ニ面シ尺綱ヲ地上ニ緊張シ正シク三角形ヲ作ルヘ

シ三、四番ハ鉗及杓ヲ持チ尺綱ノ末端、甲、乙ノ位置ニ大杓ヲ打込ミ次ニ小環ノ位置ニ中杓ヲ立ツヘシ斯クシテ幕舎第一邊ノ設備ヲ終ラハ一番ハ尺綱ノ末端ヲ握リ丙ノ位置ニ達シ組長ニ面シ尺綱ヲ地上ニ緊張シテ正シク三角形ヲ作り三、四番ハ前ノ如ク杓ヲ打込ムヘシ此ノ際尺綱ノ位置ヲ變更スヘカラス幕舎第二邊ノ設備終ラハ二番ハ丁ノ位置ニ進ミ順次作業ヲ繼續メルコト前法ニ同シ、作業全ク終ラハ組長ハ尺綱ヲ糸卷ヲ收メ一、二番ハ小綱ヲ中杓ノ位置ニ配置スヘシ

三、四番ハ鐵柱及支臺ヲ天幕敷地ノ中央ニ運ヒテ之ヲ連結シ其ノ下端ヲ基點ノ位置ニ上端ヲ幕舎出入口ノ位置ニ向ケ正シク横臥セシメ尙ホ天蓋ニ大綱ヲ裝著シ終ルモノトス

一、二番ハ組長ト協力シテ外幕ヲ搬ヒ其ノ頭部ヲ鐵柱ノ上端ニ向ケ出入口ノ兩側邊ヲ鐵柱ノ兩側ニ跨ラシムル如ク開張スヘシ然ル後一番ハ鐵柱ヲ幕體內ニ挿入シ其ノ上端ヲ天幕ノ頭部ニ達セシメ二番ハ速ニ之ニ天蓋ヲ貫通シテ鐵柱ノ孔部ニ挿

入スヘシ、三、四番ハ幕體ノ下敷ニ當ル大張綱二條ヲ大杙ニ結束シ次テ他ノ二條ノ大綱ヲ握リ反對側ニアル大杙ノ位置ニ馳セ幕體引揚ノ準備ヲ爲スヘシ
 一番ハ鐵柱ノ下端ヲ正シク基點ノ位置ニ固定シ雙手ニテ鐵柱ノ下部ヲ握リ二番ハ幕體ノ外方ニアリテ鐵柱ノ頂端ヲ握リ天幕引揚ノ準備ヲ爲スヘシ
 組長ハ「建テ」ノ號令ヲ下ス

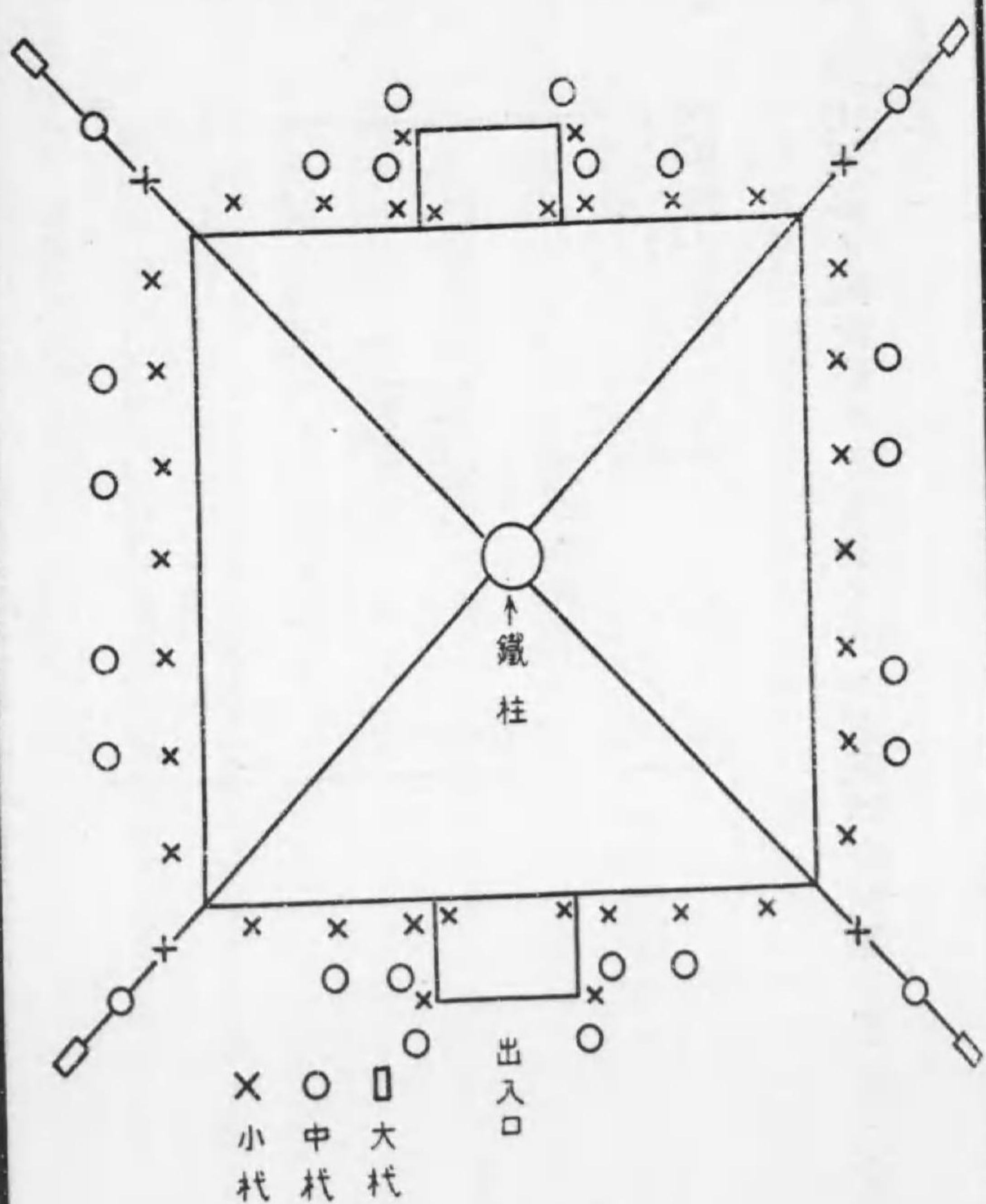
二番ハ直ニ鐵柱ヲ引揚ケ三、四番ハ一齊ニ張綱ヲ曳キテ幕體引揚ケニ全力ヲ盡スヘシ斯クテ幕體ノ引揚ケ終ラハ組長ハ鐵柱ノ位置ヲ檢視シ傾斜セハ張綱ヲ伸縮シテ正位ヲ保タシメ大張綱ヲ大杙ニ結束セシム次テ幕體ノ四隅ニ在ル綱ヲ中杙ニ堅ク留メシム一、二番ハ天幕出入口ニ當ル部分ヲ三、四番ハ他ノ二邊ヲ分擔シテ木柱ノ建設ニ著手スヘシ、木柱ハ四隅及入口ニ當ル部分ヨリ建設シ始メ順次他部ニ及ホスヲ法トス、柱ヲ建ツルニハ柱頭部ヲ幕體ノ孔部ニ貫通シ眞直ノ位置ヲ保タシメタル後地中ニ挿入スヘシ、出入口ノ桁ヲ柱頭ニ組合スニハ一側ノ柱頭ト幕體

トヲ取離シ桁ノ一端ニアル環ヲ柱頭ニ掛ケタル後再ヒ之ヲ幕體ノ孔部ニ挿入シ他側モ同様ニ行フモノトス、柱ノ建設總テ正シキトキハ幕外ヨリ小張綱ノ環ヲ柱頭ニ掛ケ綱ノ末端ヲ中杙ニ堅ク留ムヘシ

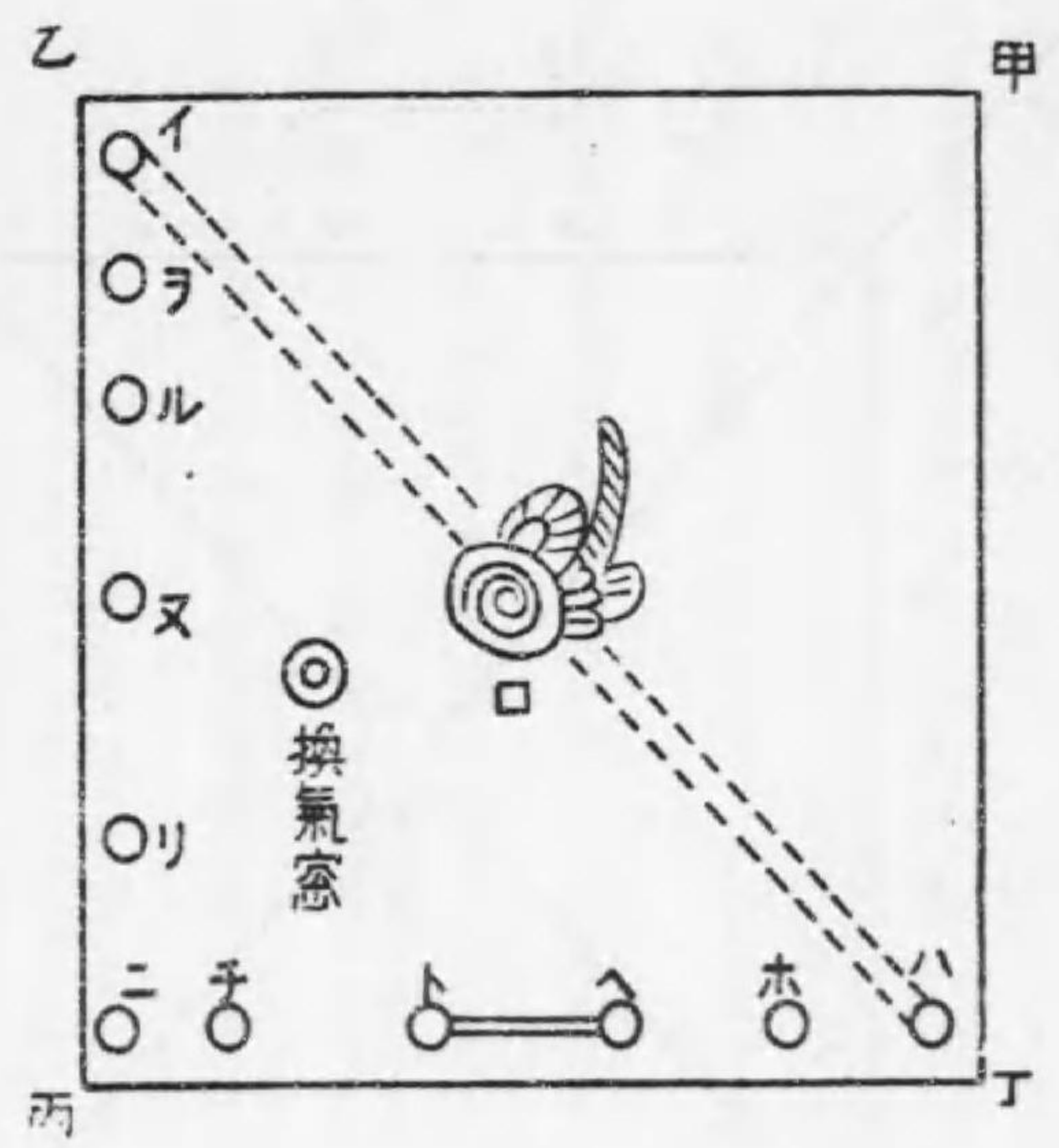
幕體ノ裾ハ小杙ヲ地中ニ打込ミタル後之ニ幕體ノ環ヲ懸ケ適當ニ牽張スヘシ
 内幕ヲ張ルニハ組長ハ鐵柱ニ裝置シアル滑車ノ位置ヲ窓ノ方位ニ向ケ曳綱ノ位置ヲ矯正スヘシ次ニ屋蓋布ノ半部ヲ開張シ一番ハ(ロ)部ヲ採リテ鐵柱ノ位置ニ二、三四番ハ(イ)(ハ)(ニ)ノ部ヲ採リテ乙、丙、丁ノ位置ニ展開スヘシ一番ハ内幕、換氣窓ノ位置ニ注意シ(ロ)部ヲ鐵柱ノ遊走子ニ結ヒ著ケ曳綱ヲ屋蓋布ノ下方ニ垂レ二、三、四番ハ最初ニ(イ)(ハ)(ニ)ニ附著スル紐ヲ木柱頭ニ結束シ續テ(ホ)(ヘ)(ト)(チ)(リ)(ヌ)(ル)(ヲ)部ヲ木柱頭ニ結束スヘシ出入口部ニ當ル屋蓋布ハ桁ノ外方ニ廻スヲ要ス、屋蓋布ノ他半部ヲ張ル順序方法ハ前ニ同シカクシテ屋蓋布ノ全部張リ終ラハ一番及二番ハ兩屋蓋布ヲ卸ニテ綴リ三、四番ハ内幕曳綱各一

條ヲ握リ一齊ニ内幕ヲ引揚クヘシ之カ引揚ケ終ラハ該曳綱ヲ支臺ノ銀輪ヲ繫クヘ
 シ
 垂布ハ木柱ノ内方ニ懸垂スヘシ之ヲ懸垂スルニハ其ノ半部ヲ一、二番ニテ、他半
 部ヲ三、四番ニテ分擔シ一班ハ丙、丁ノ入口中央部ヨリ丁、甲ノ順序ニ、一班ハ
 他側出入口ノ入口中央ヨリ乙、丙ノ順序ニ行フモノトス、一、三番ハ各々垂布ヲ
 持チ二、四番ハ夫々鉤ヲ屋蓋布ニ掛ケ紐ヲ木柱ニ結束シ出入口ニ當ル重ネ目ハ紐
 ニテ結合ス次テ出入口部ニ於ケル外幕ノ内外兩口ヲ留紐ニテ閉ツヘシ各出入口ヲ
 開張スルトキハ其ノ幕布ヲ兩側ニ開キ木柱ヲ繞リテ折返シ留紐ニテ止ムルモノト
 ス

天幕鐵柱及大中小配置圖



屋蓋布平面圖



四 以上天幕ノ建設終ラハ組長ハ左ニ列記スル諸點ヲ點檢シ不良ナル箇所ハ之ヲ矯正スヘシ

- 1 鐵柱及木柱ノ位置ハ眞直ナルコト
 - 2 杵ノ平面部ヲ天幕ニ對向セシメ又頭部ハ少シク外方ニ向ケ打込ムコト
 - 3 各張綱ハ均等ニ牽引スルコト、一部ハ急ニシテ一部ハ緩ナルトキハ幕體ヲ損スルコトアリ
 - 4 張綱ハ杵ニ一回絡ミタル後留木ニテ緊張固定スルコト
 - 5 幕體ノ裾ハ一線上ニアル如ク固定スルコト
 - 6 土地軟弱ニシテ杵ヲ支持スルニ堪ヘサルトキハ杵ノ周圍ニ木片若ハ石塊ヲ打込ミ之ヲ固定スルコト
 - 7 張綱ニ毀損ナキコトニ注意スルコト
 - 8 氷結シタル土地ニ孔ヲ穿チ之ニ杵ヲ插入シタルトキハ其ノ周圍ニ水ヲ注クコト然ルトキハ杵ノ離脱スルコト尠シ
- 第八百六十六 天幕撤收ノ順序ハ左ノ如シ

建設シアル天幕ヲ分解セントスルトキ組長ハ「天幕解ケノ」號令ヲ下ス
組長以下天幕ヲ解クノ順序、方法ハ天幕建設ノ作業ヲ逆ニ行フヘシ

第八百六十七 撤收セル天幕ハ左ノ如ク梱包ス

- 一 外幕ハ兩側出入口ヲ正シク合セ其ノ左右ヲ展張シ置キ隅角ニ當ル部分ヲ内方ニ折リ更ニ之ヲ四ツニ疊ミ約一「メートル」トナスヘシ次ニ頭及裾ノ兩部ヨリ中部ニ向テ疊ミ其ノ兩疊折部ヲ腹合セニ重ネ幅〇・八「メートル」トナシ荷造網ニテ縛ルヘシ此ノ際中央部ハ過厚トナラサルコトニ注意スルヲ要ス
 - 二 屋蓋布ハ展張シテ(イ)(ハ)ヲ(ニ)ニ合セ四角形トナシ換氣窓ヲ損セサル如ク左右ヨリ更ニ之ヲ三ツニ疊ミ其ノ長キ部分ヲ又四ツニ折疊ムヘシ
 - 三 垂布ハ一端ヨリ幅約〇・七六「メートル」ニ卷キ其ノ長キ部分ヲ更ニ四ツニ疊ムヘシ
- 屋蓋布及垂布ハ囊ニ納メ結束ス

- 四 鐵柱ハ内幕曳綱ヲ鐵柱ニ纏絡シタル後上下兩柱ヲ一箇ニ結束ス
- 五 木柱ハ十三箇ヲ一箇ニ結束ス
- 六 杵ハ大、中ヲ乙囊ニ、小ヲ丙囊ニ收ムヘシ杵ハ總テ尖端ヲ上方ニ向ケ囊ニ納ムルモノトス

- 七 張網ハ圈狀ニ、尺綱ハ絲卷ニ卷キ支臺、天蓋、杵拔ト共ニ甲囊ニ納メ錠、方匙ハ丙囊ニ納ム

第八百六十八 天幕使用上ノ注意ハ左ノ如シ

- 一 支臺ハ移動スヘカラス
- 二 風向ニ依リ張網ノ弛張度ヲ適宜伸縮スルヲ肝要トス
- 三 風下ニ在ル出入口ハ閉塞スヘシ
- 四 積雪ハ屢々拂ヒ落スヘシ然ラサレハ幕ヲ損スルコトアリ
- 五 杵ハ使用區分ニ應シ大、小混用スヘカラス又杵ヲ打込ムニハ必ス暴力ヲ使

用スヘカラス杵頭ヲ損スルヲ以テナリ

六 外幕及張網ハ必要ニ應シ防腐劑(「コール」等)ヲ塗布スルヲ要ス又内幕ハ力メテ

清潔ニ保持シ若シ汚染シタルトキハ洗濯ヲ行フヘシ

七 建設シタル幕邊ノ周圍ニハ必ス溝ヲ掘ルヘシ雨水等ノ排除ニ便ナラシムル
タメナリ

八 出入口部ノ柱ハ雨雪天ノ時ニ方リ内方ニ傾斜セシメ其ノ基礎部ヲ小杵ニテ
固定スルコト

九 手術用天幕ヲ患者收容ニ使用セムトスルトキハ内幕ヲ取除クヘシ

一〇 採煖ニハ煖爐ヲ使用ス

第六 磨工器械

第八百六十九 磨工器械ハ器械ノ研磨、修理及鍍金等ニ用ヤル工作具ニシテ主ニ磨
工長、磨工卒ノ使用スルモノナリ

第四章 藥物

第一 醫療藥

第八百七十 醫療藥中頻用サルルモノ左ノ如シ

一 「アセチールサリチール」酸(「アスピリン」)

白色結晶性粉末ニシテ殆ト臭氣ナク微ニ酸味アリ水ニ溶ケ難ク熱湯並酒精ニ

溶ケ又炭酸「ナトリウム」溶液ニ泡立チツツ溶ケ自然ニ分解ス

主トシテ解熱、鎮痛劑トシテ用キラル

二 硼酸

眞珠様光澤アル鱗屑狀結晶或ハ結晶性粉末ニシテ指ニテ擦スレハ滑カナリ二

十五倍ノ水ニハ徐々ニ、三倍ノ熱湯ニハ直ニ溶ケ又「グリセリン」ニ溶ク百度

ニ熱スレハ粉末トナル

主トシテ刺戟少キ防腐藥トシテ洗滌、含嗽、罌法等ニ用キラル

三 (劇) 石炭酸

無色鍼狀ノ結晶或ハ結晶性ノ塊ニシテ特異ノ臭氣アリ大氣中ニ於テ漸次紅色ニ變ス十五倍ノ水ニ溶ケ中性若ハ酸性ヲ呈スル澄明ノ液トナル酒精「エーテル」並「グリセリン」ニ溶ク熱スレハ揮散シ又燃ヘ易シ皮膚ヲ腐蝕スル性アリ石炭酸ニ十分一量ノ水ヲ加ヘタルモノヲ溶製石炭酸ト稱ス室温ニ於テ液體ナルヲ以テ使用スルニ便ナリ主トシテ消毒ニ用キラル
共栓硝子瓶若ハ金屬罐ニ入レ光ヲ遮リ密閉シ貯フ

四 (劇) 鹽酸

無色澄明ノ液ニシテ濕リタル大氣中ニ於テ白霧ヲ生シ金屬ヲ溶カス性アリ熱スレハ揮散ス

比重約一・二五二

鹽酸ニ二倍量ノ水ヲ加ヘ溶カシタルモノヲ稀鹽酸ト稱ス

鹽酸ハ試驗用トシテ或ハ「リモナーデ」トナシ内服ニ用キラル

共栓硝子瓶ニ入レ密栓シ貯フ

五 (劇) 硝酸

無色澄明ノ液ニシテ熱スレハ揮散ス日光ニ觸ルルトキハ分解シテ赤色トナル

金屬ヲ溶カシ又皮膚ヲ腐蝕スル性アリ

比重約一・二八五

主トシテ試驗用トス

共栓硝子瓶ニ入レ密栓シテ貯フ

六 (劇) 硫酸

無色無臭澄明油稠ノ液ニシテ水ヲ吸收スル力甚タ強ク有機質ヲ分解スル性アリ

リ又之ニ水ヲ加フルトキハ劇シキ作用ヲ起シテ溶液ヲ飛散セシムルコトアリ故ニ硫酸ト水トヲ混スルニハ水ヲ廣キ器ニ盛リ硝子棒ニテ斷ヘス攪拌シツツ硫酸ヲ徐々ニ滴下スルヲ要ス

比 重 一・八三七—一・八四一

硫酸ニ九倍量ノ水ヲ加ヘ溶カシタルモノヲ稀硫酸ト稱ス

主トシテ試験用トス

共栓硝子瓶ニ入レ密栓シテ貯フ

七 無水「ラノリン」

淡黄色軟膏様物質ニシテ微弱ナル特異ノ臭氣アリ水ニ溶ケス又酒精ニ溶ケ難シ、「エーテル」、「クロロフォルム」ニ溶ケ二倍量ノ水ト共ニ研和スルトキハ、能ク混和ス

無水「ラノリン」ニ三分ノ一量ノ水ヲ加ヘテ研和シタルモノハ含水「ラノリン」

ト稱ス温ムレハ融解シ水ヲ分離ス

變敗シ難キヲ以テ軟膏ノ原料トシテ用キラルルコト多シ

密閉器中ニ貯フ

八 豚 脂

白色軟膏様ノ物質ニシテ不快ナラサル特異ノ臭氣アリ變敗シ易シ約四十度内外ノ温度ニ於テ融解ス水ニ溶ケス酒精ニ溶ケ難ク「エーテル」ニ溶ケ易シ

豚脂ニ安息香ヲ加ヘ融カシタル後濾過シタルモノアリ安息香豚脂ト稱ス、軟

膏ノ原料トシテ用キラル

金屬罐若ハ硝子瓶ニ入レ密閉シテ冷所ニ貯フ

九 麻醉用「エーテル」

無色澄明揮散シ易キ液ニシテ特異ノ香味ヲ有ス水ニ溶ケ難ク酒精、「クロロフォルム」ト能ク混和シ又脂肪類ヲ溶カス性アリ點火シ易キヲ以テ火氣ヲ近ツ

クヘカラス

比重 〇・七二

五十立方「センチメートル」ヲ硬製褐色硝子管ニ入レ融閉シ冷所ニ貯フ

十 明 礬

無色透明巨大ノ結晶ニシテ味微ニ甘クシテ澁シ、水ニ溶ケ酸性ヲ呈ス酒精ニ溶ケス熱スレハ融解シ次ニ膨起シ終ニ白色粉末トナル之ヲ燒明礬ト稱ス含喇、淨水等ニ用キラル

十一 「スルフォイヒチオール」酸「アムモニウム」(「イヒチオール」)

帶赤褐色濃稠ノ液ニシテ焦臭アリ水、酒精ニ澄明ニ溶ケ酸性ヲ呈ス

主トシテ塗布劑トシテ用キラル

十二 澱 粉

葛ヨリ製シタルモノト、馬鈴薯ヨリ製シタルモノトアリ白色ノ粉末ニシテ殆

ト臭味ナシ水竝酒精ニ溶ケス水ト共ニ煮沸スレハ糊化ス「ヨード」ニ觸ルレハ

藍色トナル

主トシテ撒布劑トシテ用キラル

十三 蒸 餾 水

無色無臭澄明中性ノ液ナリ硝子瓶ニ入レ密栓シ貯フ

蒸餾水ヲ「コルベン」ニ入レ綿栓ヲ施シテ滅菌器中ニ入レ溫度百度ヲ示シテヨ

リ約三十分間加熱シ其ノ儘放冷シタルモノヲ滅菌蒸餾水ト稱ス

凡テ滅菌水ハ滅菌シタル容器ノ儘貯ヘ一度栓ヲ開キタルモノハ用ニ堪ヘス

十四 (劇)杏仁水

澄明或ハ微ニ混濁セル液ニシテ杏仁ノ香氣アリ

主トシテ呼吸器ノ鎮靜藥トシテ他藥ニ伍シテ用キラル

硝子瓶ニ入レ光ヲ遮リ貯フ

十五 (劇)硝酸銀

光澤アル無色板狀ノ結晶ニシテ光ニ觸レ分解ス、水並酒精ニ溶ケ常水又ハ食鹽ヲ含ミタル水ニハ白色乳狀ニ濁リテ熔ク食鹽ノ量多ケレハ沈澱ヲ起ス
主トシテ腐蝕收斂藥トシテ點眼塗咽等ニ用キラル
共栓硝子瓶ニ入レ光ヲ遮リ貯フ

十六 (劇)硝酸銀加硝石(ラーピス)

硝酸銀一分、硝酸「カリウム」二分ヲ混和シ融解シテ棒狀ニ製シタルモノニシテ白色或ハ帶灰白色ヲ呈シ有機物ニ觸ルルトキハ黑變ス、塵埃、紙片等ノ附著スルコトヲ避クヘシ

作用ハ硝酸銀ニ類シ不良ノ肉芽面等ニ用キラル

共栓硝子瓶ニ入レ光ヲ遮リ貯フ

十七 「プロテイン」銀 (プロタルゴール)

黃褐色微細ノ粉末ニシテ之ヲ水上ニ浮ヘ放置スルトキハ徐々ニ全ク溶ク、中性若ハ微ニ「アルカリ」性ヲ呈ス其ノ水溶液ヲ振盪スルトキハ泡立ツ
溶液ハ用ニ臨ミ製スヘシ

殺菌力ヲ有シ主トシテ尿道注射藥トシテ用キラル

硝子瓶ニ入レ密栓シ光ヲ遮リ貯フ

十八 石油「ベンチン」

澄明無色揮發性ノ液ニシテ石油ニ類スル臭氣アリ、水ニ溶ケス「エーテル」ニ溶ク油、脂肪等ヲ溶カス性アリ
點火シ易シ火氣ヲ近ツクヘカラス
主トシテ不潔ナル皮膚等ヲ淨ムルニ用キラル
硝子瓶ニ入レ密栓シ冷所ニ貯フ

十九 次硝酸蒼鉛(硝蒼)

白色微細ナル結晶性ノ重キ粉末ニシテ殆ト臭氣ナシ水ニ溶ケ難シ
收斂藥トシテ主トシテ胃腸ノ疾患ニ用キラル内服スルトキハ糞ハ黒クナル
硝子瓶ニ入レ密栓シ貯フ

二十 「クロール石灰」(晒粉)

白色或ハ類白色ノ粉末ニシテ微ニ刺戟性ノ臭氣アリ水ニ一部分溶ク之ニ赤色
試験紙ヲ浸セハ藍色トナリ次テ褪色ス日光竝濕氣ニ觸ルルトキハ分解ス
布ヲ晒シ又ハ消毒スルニ用キラル

日光及濕氣ヲ避ケ冷所ニ貯フ

二十一 煨製石灰 (生石灰)

白色ノ塊片ニシテ大氣中ニ於テ徐々ニ水及炭酸ヲ吸ヒ崩壊ス、水ヲ注ケハ熱
ヲ起シ白色ノ粉末トナル、之ヲ消石灰ト稱ス、更ニ十倍量ノ水ヲ注ケハ「ア
ルカリ」性ヲ有スル石灰乳ヲ生ス消毒ニ用キラル

密閉器中ニ貯フ

二十二 煨製硫酸「カルチウム」(ギブス)

白色微細ノ粉末ニシテ二分ノ一量ノ水ヲ和スレハ泥狀トナリ十分時間以内ニ
固結ス、大氣中ニ於テ徐々ニ水分ヲ吸收シ固結スルノ性ヲ失フ

水分ヲ吸收シタルモノハ使用ニ方リ約百六十度ノ温度ニ於テ加熱シ水分ヲ驅
除スヘシ

密閉器中ニ貯フ

二十三 「カプセル」

藥物ヲ被包シ内服ニ用キラルモノニシテ膠囊及「オブラート」ニ區別ス

(一) 膠囊 通常一端閉塞シ交互重合シ得ヘキ一對ノ圓筒形囊體ヨリ成ル、
透明ニシテ臭氣ナク彈力性ヲ有ス

(二) 「オブラート」 穀粉ヨリ製シタルモノハ純白色ノ圓形葉片ヲナシ、「ダ

ラチン」ヨリ製シタルモノハ透明柔軟ナル薄キ圓形ノ葉片ヲナス、臭味
ナク水ニ浸セハ直ニ軟化ス

密閉器中ニ貯フ

二十四 樟 腦 (カムフル)

無色透明若ハ白色半透明柔軟ノ塊片或ハ白色結晶性ノ粉末ニシテ固有ノ香氣
ヲ有シ味微ニ苦クシテ辛ク後チ冷涼ナリ、室温ニ於テ徐々ニ揮散ス、水ニ溶
ケス酒精「エーテル」、「クロロフォルム」ニ溶ク

主トシテ強心藥トシテ用キラル

二十五 鹽酸「キニーネ」 (鹽規)

白色鍼狀ノ結晶ニシテ味甚タ苦ク、酒精並水ニ溶ケ中性反應ヲ呈ス、日光ニ
觸ルルトキハ黃色ニ變ス

「マラリア」ノ特效藥ナリ又解熱藥トシテ用キラル

硝子瓶ニ入レ光ヲ遮リ貯フ

二十六 (劇)麻酔用「クロロフォルム」

無色透明揮發性ノ液ニシテ特異ノ香氣アリ之ヲ嗅ケハ麻酔ス味微ニ甘ク、水
ニハ僅カニ溶ケ酒精「エーテル」ニ溶ケ易シ又脂肪類ヲ溶解スル性アリ

比重 一・四八五—一・四八九

五十「グラム」ヲ硬性褐色硝子管ニ入レ融閉シ冷所ニ貯フ

二十七 (劇)鹽酸「コカイン」 (「コカイン」)

無色透明無臭ノ結晶或ハ白色結晶性粉末ニシテ水並酒精ニ溶ケ其ノ水溶液ハ
中性ナリ舌上ニ致セハ鈍麻ノ感ヲ起ス

局所知覺麻痺藥トシテ用キラル

硝子瓶ニ入レ密栓シ貯フ

二十八 「キナ」皮

南「アメリカ」、西印度、印度等ノ地方ニ産スル「キナ」樹ノ幹及枝ノ皮ヲ採集セシモノナリ外面帶灰類褐色ニシテ内面ハ帶褐赤色ナリ、之ヲ嚼メハ苦クシテ澁シ

主トシテ煎劑トナシ強壯劑トシテ用キラル

二十九 (劇)鹽酸「ヂアセチール、モルヒネ」(「ヘロイン」)

白色結晶性ノ粉末ニシテ味苦シ水並酒精ニ溶ケ「エーテル」ニ溶ケス主トシテ鎮咳劑トシテ用キラル

硝子瓶ニ密栓シ光ヲ遮リ貯フ

三十 「ヂアスターゼ」

白色或ハ帶黄白色無臭ノ粉末ニシテ水ニハ澄明ニ或ハ微ニ濁リテ溶ク酒精ニ溶ケス澱粉、糊ニ混シ温所ニ放置スルトキハ澱粉ヲ消化スルノ性アリ硝子瓶ニ入レ密栓シ光ヲ遮リ除濕器中ニ貯フ

三十一 (劇)「ヂギタミン」

「ヂギタリス」葉ヨリ抽出シテ得タル有效成分ヲ「アルコホル」含有ノ「グリセリン」水溶液ニ溶シ製シタルモノニシテ一立方「センチメートル」ハ「ヂギタリス」葉細末〇・五「グラム」ニ對應スヘキ効力ヲ有ス強心藥トシテ用ヒラル

硝子瓶ニ入レ密栓シ若ハ硝子管ニ入レ冷所ニ貯フ

「ヂガーレン」ハ本品ニ代用スルコトヲ得

三十二 (毒)鹽酸「ヂオキシ、ヂアミド、アルゼノベンツオール」(「サルバルサン」)

淡黄色引濕性ノ粉末ニシテ大氣中ニ於テ分解シ易ク水ニ容易ニ溶ケ酸性反應ヲ呈ス「グリセリン」ニ溶ケ易ク酒精ニ溶ケ難シ動物試験ニ依リ其ノ毒力ヲ檢定シタルモノナリ

「スヒロヘータ」ニ作用シ之ヲ死滅セシムル効アリ故ニ梅毒、鼠咬症等ニ用キラル

硝子管ニ入レ融閉シ貯フ

「アルザミノール」、「エーラミゾール」ハ本品ニ代用スルコトヲ得

三十三 「ゴム」絆創膏

「ゴム」、「バルサム」、「ラノリン」、等ノ研和物ヲ布ニ展敷シタルモノニシテ

其ノ膏面ハ褐色ヲ呈シ、清潔ニシテ乾燥スル皮膚ニ對シ強キ粘著性ヲ有ス

「ゴム」絆創膏ニ亞鉛華ヲ混シタルモノヲ亞鉛華「ゴム」絆創膏ト稱ス

「ゴム」絆創膏ヲ狭ク截チ卷キテ軸トナシタルモノアリ其ノ一號ハ幅一・二五

「センチメートル」ニ號ハ二・五「センチメートル」三號ハ五「センチメートル」

ニシテ何レモ十「メートル」ノ長サヲ有ス

冷乾所ニ貯フ

三十四 「エキス」劑

「エキス」劑ハ植物ノ汁液或ハ植物質ヨリ製シタル浸出液ヲ煎稠シタルモノニシテ其ノ主ナルモノ左ノ如シ

一 綿馬「エキス」 類綠色ノ稀薄「エキス」ニシテ水ニ溶ケス「エーテル」ニ溶ク、味不快ニシテ刺戟性ナリ、用ニ臨ミ攪拌スヘシ

條蟲驅除ニ用キラル

二 (劇)「ホミカエキス」 褐色ノ乾燥「エキス」ニシテ水ニ濁リテ溶ク、強

キ苦味アリ除濕器中ニ貯フ

「ストリキニーネ」ノ作用ニヨリ主トシテ胃腸藥トシテ用キラル

三 (劇)阿片「エキス」 赤褐色ノ粉末ニシテ水ニ濁リテ溶ク、味苦シ

鎮痛藥トシテ腸ノ蠕動ヲ鎮靜シ制瀉等ニ用キラル

四 (劇)莨菪「エキス」 褐色ノ稠厚「エキス」ニシテ水ニ濁リテ溶ク、特異

ノ臭氣アリ味微ニ苦シ

鎮痙、鎮痛藥トシテ他藥ニ伍シテ用キラル

三十五 流動「エキス」劑

流動「エキス」劑ハ植物質ヨリ製シタル液狀ノ浸出液ニシテ其ノ浸出セル「エキス」劑ノ容量ハ當初使用シタル藥物ノ重量數ト同一ナリ其ノ主ナルモノ左ノ如シ

「カスカラサグラダ」流動「エキス」 暗褐色ノ液ニシテ苦味アリ、之ニ多量ノ水ヲ和スレハ濁ル

緩下劑トシテ用キラル

(劇)麥角流動「エキス」 赤褐色ノ液ニシテ特異ノ臭氣アリ水ニ澄明ニ溶ク

古キモノハ使用スヘカラス

主トシテ内臟ノ止血藥トシテ用キラル

三十六 (劇)「ヂギタリス」葉 (「ヂギタリス」)

長卵圓形ノ葉ニシテ上面暗綠色、下面汚綠色ヲ呈シ著シク脈絡ヲ露出ス、葉柄ヲ缺キ或ハ三稜性ノ葉柄ヲ具フ、葉柄及主脈ヲ除去シ使用ス、乾燥不十分ナルモノハ腐リテ效ナシ

強心藥トシテ用キラル、但之ヲ持長スルトキハ體內ニ蓄積シ中毒ヲ起スコトアリ

光ヲ遮リ除濕器中ニ貯フ

三十七 「グリセリン」

無色澄明粘稠ノ液ニシテ殆ト臭氣ナク味甘シ、水、酒精ニハ隨意ノ比例ニ溶ケ、「エーテル」、「クロロフォルム」並脂肪油ニ溶ケス

比 重一・二三五—一・二三五

主トシテ灌腸劑、塗布劑トシテ用キラル

密閉器中ニ貯フ

三十八 炭酸「グアヤコール」(「ツオタール」)

白色結晶性ノ粉末ニシテ殆ント臭味ナク水ニ溶ケス酒精「エーテル」ニハ僅ニ、熱酒精ニハ容易ニ溶ク

腸ニ至リテ分解シ其ノ効用ヲ現ス

三十九 (毒) 昇 汞

白色透明ノ重キ結晶性塊片或ハ、鍼狀結晶或ハ、白色結晶性粉末ニシテ水、酒精、「エーテル」ニ溶ク其ノ水溶液ハ酸性ヲ呈ス、金屬ヲ腐蝕スル性アリ又蛋白質ト結合シ易シ之カ結合ヲ防クニハ鹽酸或ハ「クロール」、ナトリウム」ヲ加フ

主トシテ消毒藥トシテ用キラル

硝子瓶ニ入レ光ヲ遮リ貯フ

四十 (劇) 甘 汞

帶黃白色微細ノ重キ粉末ニシテ研磨スレハ類黃色ヲ呈シ水、酒精ニ溶ケス光或ハ有機物ニ觸ルトキハ分解ス

主トシテ峻下劑、撒布劑トシテ用キラル

硝子瓶ニ入レ光ヲ遮リ貯フ

四十一 (劇)「ヨードフォルム」

黃色微細ノ葉狀結晶或ハ結晶性粉末ニシテ特異ノ臭氣アリ水ニ溶ケス又酒精ニ溶ケ難シ

防腐藥トシテ主トシテ創面ニ用キラル

硝子瓶ニ入レ密栓シ光ヲ遮リ貯フ

四十二 (劇)「ヨード」

灰黑色ノ板狀結晶ニシテ金屬様ノ光澤アリ特異ノ臭氣ヲ有シ水ニ溶ケ難シ、

酒精、「エーテル」、「クロロフォルム」ニ溶ク、熱スレハ紫色ノ蒸氣ヲ發生シテ揮散シ澱粉ヲ藍色ニ染ム

「ヨード」ハ游離状態ニ於テ殺菌力アリ
共栓硝子瓶ニ入レ密栓シ貯フ

四十三 (劇)苛性「カリ」

白色ノ塊片又ハ棒狀ヲナシ大氣中ニ於テ潮解シ炭酸ヲ吸收ス、水、酒精ニ溶ケ強ク皮膚ヲ腐蝕スル性アリ
主トシテ試薬トシテ用キラル

硝子瓶ニ入レ密栓シ貯フ

四十四 「ブロームカリウム」(臭剝)

無色骰子形ノ結晶或ハ白色結晶性ノ粉末ニシテ味鹹ク且苦シ、水ニ溶ケ易ク酒精ニ溶ケ難シ

鎮靜薬トシテ神經症ニ用キラル

四十五 (劇)「クロール」酸「カリウム」(鹽剝)

無色板狀或ハ白色結晶性粉末ニシテ水ニ溶ケ中性反應ヲ呈ス、酒精ニ溶ケ難シ味鹹ク冷涼ナリ、硫黄、木炭、蔗糖ト混セ磨ルトキハ爆發ス
弱キ殺菌作用アリ主トシテ含嗽劑トシテ用キラル

四十六 (劇)「ヨードカリウム」(沃剝)

白色骰子形ノ結晶ニシテ「ブロームカリウム」ニ類ス味鹹ク微ニ苦シ、水、酒精ニ溶ク、濕リタル大氣中ニ於テ潮解シ日光ニ觸ルルトキハ分解ス
變質薬トシテ新陳代謝ヲ促進スル作用アリ

硝子瓶ニ入レ密栓シ光ヲ遮リ貯フ

四十七 過「マンガン」酸「カリウム」

暗紫色稜柱狀ノ結晶ニシテ金屬様ノ光澤ヲ有シ燃燒シ易キ物質ト共ニ研和ス

レハ爆發ス、水ニ紫色ヲ呈シテ溶ク之ニ亞硫酸、樟酸、酒精ヲ加フルトキハ
脱色ス

酸化作用アリ含嗽劑、洗滌劑等トシテ用キラル
共栓硝子瓶ニ入レ密栓シ貯フ

四十八 醋酸「アルミニウム」液（「ブロー」液）

無色澄明ノ液ニシテ微ニ醋ノ臭氣ヲ有シ酸性反應ヲ呈ス、味微ニ甘クシテ澁
シ、之ヲ熱スルトキハ分解ス

比重 一・〇四四—一・〇四八

收斂藥トシテ主トシテ冷卷法ニ用キラル

硝子瓶ニ入レ密栓シ冷所ニ貯フ

四十九 「アムモニア」水

無色澄明ノ液ニシテ特異ノ臭氣ヲ有シ強「アルカリ」性反應ヲ呈ス、鹽酸ヲ以

テ濡ホシタル硝子棒ヲ近クレハ白霧ヲ生ス

比重 〇・九五九—〇・九六〇

局所ニ使用スレハ弱キ腐蝕作用アリ

共栓硝子瓶ニ入レ密栓シ冷所ニ貯フ

五十 (劇)滅菌鹽酸阿片鹽基「スコポラミン」液（「バントポンスコポラミン」
液）

鹽酸阿片鹽基四「グラム」、「ブローム」水素酸「スコポラミン」〇・〇六「グラム」
ヲ滅菌蒸留水ニ溶解シ全量ヲ百立方「センチメートル」トナシ其ノ約一、三立
方「センチメートル」ヲ硬性褐色硝子管ニ入レ融閉シ製シタルモノニシテ微類
黃色乃至類褐色澄明ノ液ナリ

鎮靜藥トシテ麻醉ノトキニ用キラル

光ヲ遮リ貯フ

五十一 滅菌樟腦液 (「カムフル」液)

樟腦ニ「グラム」ヲ取り「エーテル」、「オレーフ」油各四立方「センチメートル」ニ溶カシ其ノ約一、三立方「センチメートル」ヲ硝子管ニ入レ融閉シ滅菌シ製シタルモノニシテ樟腦ノ香氣ヲ有スル淡黄色、澄明ノ液ナリ
冷所ニ貯フ

五十二 (劇)「クレゾール」石鹼液

澄明赤褐色ノ濃厚ノ液ニシテ特異ノ臭氣ヲ有シ「アルカリ」性反應ヲ呈ス、水、酒精、「グリセリン」ニ溶ケ常水ニハ微ニ濁濁シテ溶ク

比重 一・〇三八—一・〇四一

消毒藥トシテ用キラル

共栓硝子瓶ニ入レ光ヲ遮リ貯フ

五十三 (劇)「フォルムアルデヒド」液 (「フォルマリン」)

無色澄明若ハ微ニ濁リタル類黄色ノ液ニシテ刺激性ノ臭氣ヲ有シ中性或ハ弱

酸性反應ヲ呈ス、水、酒精ニ溶ケ「エーテル」ニ溶ケス、熱スルトキハ「フォルムアルデヒド」瓦斯ヲ發生シ白色、無晶形ノ物質ヲ析出ス

消毒藥トシテ用キラル

硝子瓶ニ入レ光ヲ遮リ冷所ニ貯フ

五十四 (劇)濃過酸化水素液 (「ペルヒドロール」)

無色澄明無臭ノ液ニシテ微ニ苦味ヲ有シ弱酸性反應ヲ呈ス、室温ニ於テ徐々ニ分解シ酸素ヲ放出ス、酸化金屬若ハ金屬粉末ト接觸シ或ハ加熱スルトキハ甚タ速ニ分解シ往々爆發スルコトアリ、零下二十五度ノ温ニ於テ凝結ス水、酒精「エーテル」ニ溶ク

比重 一・一一五—一・一一九

内面ニ「パラフィン」ヲ衣シタル硝子瓶ニ入レ「パラフィン」ヲ以テ密栓シ光ヲ遮リ冷所ニ貯フ

濃過酸化水素液一分ニ、水九分ヲ加ヘ稀釋シタルモノヲ過酸化水素液ト稱ス
酸化作用アリ防腐制臭藥トシテ化膿劑ニ用キラル又含嗽劑トシテモ用キラル
褐色硝子瓶ニ入レ、密栓シ冷所ニ貯フ

五十五 (毒)滅菌鹽酸「モルヒネ」液 (「モヒ」液)

鹽酸「モルヒネ」一分、石炭酸〇・五分、水適宜ヲ取リテ溶解シ全量百立方「セ
ンチメートル」トナシ其ノ約一、三立方「センチメートル」ヲ褐色硬性硝子管
ニ容レ融閉シ滅菌シ製シタルモノニシテ無色、澄明ノ液ナリ
鎮痛藥トシテ用キラル

光ヲ遮リ冷所ニ貯フ

五十六 生理的「クロールナトリウム」液 (生理的食鹽水)

「クロールナトリウム」八・五「グラム」水九百九十一・五「グラム」ヲ取リ溶解
シ濾過シ其ノ二百五十立方「センチメートル」又ハ五百立方「センチメートル」

ヲ硝子管ニ入レ融閉シ滅菌シテ製シタルモノニシテ主トシテ強心藥トシテ用
キラル

無色、澄明ノ液ナリ

五十七 (劇)滅菌鹽酸「バラミノ、ペンツォイル、ヂエチール、アミノ、エタ

ノール」液 (「ノウカカイン」液)

強、弱ノ二種アリ

(一) 強液ハ鹽酸「バラミノ、ペンツォイル、ヂエチール、アミノ、エタノ
ール」一「グラム」、滅菌蒸餾水適宜ヲ取リ溶解シテ全量百立方「センチ
メートル」トナシ其ノ約十立方「センチメートル」ヲ硬性褐色硝子管ニ入
レ融閉シ滅菌シ製シタルモノニシテ無色澄明ノ液ナリ

(二) 弱液ハ鹽酸「バラミノ、ペンツォイル、ヂエチール、アミノ、エタノ
ール」〇・五「グラム」滅菌蒸餾水適宜ヲ取リ溶解シテ全量百立方「センチ

メートル」トナシ其ノ約五立方「センチメートル」ヲ硬性褐色硝子管ニ入
レ融閉シ滅菌シ製シタルモノニシテ無色澄明ノ液ナリ
局所知覺麻痺藥トシテ用キラル
光ヲ遮リ貯フ

五十八 硫酸「マグネシウム」(硫麻)

無色稜柱狀結晶ニシテ大氣中ニ於テ殆ト變化セス、苦鹹味ヲ有シ等分ノ水ニ
溶ケ酒精ニ溶ケス、水溶液ハ澄明ニシテ中性反應ヲ呈ス硫酸亞鉛ニ似ルカ故
ニ混同シ易シ注意ヲ要ス
主トシテ下劑トシテ用キラル

五十九 (毒)鹽酸「モルヒネ」(「モヒ」)

絹絲様ノ光澤ヲ有スル白色鍼狀ノ結晶ニシテ多クハ束鍼狀ニ集團ス、水、酒
精ニ溶ケ「エーテル」ニ溶ケス、水溶液ハ中性反應ヲ呈シ日光照射ニヨリテ漸

次分解ス

硝子瓶ニ入レ密栓シ光ヲ遮リ貯フ

六十 重碳酸「ナトリウム」(重曹)

白色ノ結晶塊或ハ白色結晶性ノ粉末ニシテ味鹹ク滷臭ヲ帶フ、水ニ溶ケ酒精
ニ溶ケス、水溶液ハ「アルカリ」性反應ヲ呈ス之ヲ加熱スルカ或ハ放置スルト
キハ分解ス酸類ニハ泡立チツツ溶ク
主トシテ健胃劑、吸入劑トシテ用キラル
密閉器中ニ貯フ

六十一 炭酸「ナトリウム」

無色透明ノ結晶ニシテ大氣中ニ放置スルトキハ漸次白色ノ粉末ヲ以テ覆ハ
ル、水ニ溶ケ「アルカリ」性反應ヲ呈ス、酸類ニハ泡立チツツ溶ク
消毒、洗濯等ニハ粗製炭酸「ナトリウム」(ソーダ)用キラル

密閉器中ニ貯フ

六十二 (毒) 「デオキシ、デアミド、アルゼノ、ベンツォール、モノメタン、スルフィン酸ナトリウム」(「ネオサルバルサン」)

橙黄色ノ粉末ニシテ特異ノ臭氣ヲ有シ大氣中ニ於テ分解シ易ク水ニ溶ケテ黄色ノ液トナリ藍色試験紙ヲ變色セス其ノ水溶液ハ漸次暗褐色ヲ呈シ遂ニ褐色ノ沈澱ヲ生ス酒精ニ殆ント溶ケス動物試験ニヨリ其ノ毒力ヲ檢定シタルモノナリ硝子管ニ入レ融閉シ貯フ

「ネオアルザミノール」、「ネオエーラミゾール」ハ本品ニ代用スルコトヲ得

六十三 「サリチール」酸「ナトリウム」(撒曹)

白色ノ鱗屑狀結晶或ハ結晶性粉末ニシテ臭氣ナク不快ナル甘味ヲ有シ稍辛シ、水、酒精ニ溶ケ弱酸性反應ヲ呈ス、水溶液ハ無色ニシテ少時間放置スルモ微類赤色ヲ呈スルニ止マル

解熱、發汗劑トシテ用キラレ急性關節レウマチスニ特效アリ

硝子瓶ニ入レ密栓シ光ヲ遮リ貯フ

六十四 (劇) 苛性「ナトロン」

乾燥セル白色ノ塊片或ハ棒狀ヲナシ大氣中ニ於テ濕氣ヲ引キ炭酸ヲ吸收ス、水竝酒精ニ溶ケ腐蝕性强シ

主トシテ試薬トシテ用キラル

硝子瓶ニ入レ密栓シ貯フ

六十五 蓖麻子油 (「リチネ」油)

無色澄明或ハ類黄色濃稠ノ油ニシテ微ニ特異ノ臭氣ヲ有ス、味ハ緩和ニシテ稍刺戟性ナリ、低温度ニ於テ乳脂様ニ凝固ス、酒精ニ溶ク

比重 〇・九五〇—〇・九七〇

主トシテ下劑トシテ用キラル

密閉器中ニ貯フ

六十六 (劇)阿片

褐色ノ粉末ニシテ麻醉性ノ臭氣及強キ苦味ヲ有ス、乾燥不十分ナルモノ或ハ大氣中ニ放置シタルモノハ固結シ阿片ノ効力ヲ失フニ至ル
硝子瓶ニ入レ密栓シ除濕器中ニ貯フ

六十七 「タール」硫黃泥膏 (參硫膏)

木「タール」、酸化亞鉛及昇華硫黃、豚脂及牛脂ヲ研和セル帶褐灰色ノ膏劑ナリ

用ニ臨ミテ攪拌スヘシ

主トシテ濕疹、頑癬等ニ用キラル

密閉器ニ入レ冷所ニ貯フ

六十八 (毒)鹽酸「ピロカルピン」 「ピロカルピン」

白色ノ結晶ニシテ微ニ苦味ヲ有シ、大氣中ニ於テ濕氣ヲ引キテ潮解ス、水、酒精ニ溶ク、水溶液ハ弱酸性反應ヲ呈ス「エーテル」、「クロロフォルム」ニ溶ケ難シ

發汗、分泌ヲ促ス作用アリ

硝子管ニ入レ融閉シテ貯フ

六十九 (劇)阿片吐根散 (「ドール」散)

阿片末、吐根末各一分、硫酸「カリウム」八分ヲ取り混和シ製シタルモノニシテ淡褐色ヲ呈シ阿片ノ臭氣ヲ有ス
鎮咳、祛痰藥或ハ止痢劑トシテ用キラル
硝子瓶ニ入レ密栓シ貯フ

七十 健胃散

重碳酸「ナトリウム」二十五分、當藥末(センプリ)一分ヲ取り研和シ製シタル

モノニシテ淡褐色ノ粉末ナリ

硝子瓶ニ入レ密栓シ貯フ

七十一 亞鉛華澱粉

酸化亞鉛一分、澱粉一分ヲ取り研和シ製シタルモノニシテ白色、微細ノ粉末ナリ

撒布劑トシテ用キラル

密閉器中ニ貯フ

七十二 (劇)「フェニール、ヂメチール、ピラツォロン」「アンチピリン」

無色稜板狀若ハ稜柱狀ノ結晶或ハ白色結晶性粉末ニシテ殆ント臭氣ナク味微ニ苦シ、等分ノ水、酒精又ハ「クロロフォルム」ニ溶ク

主トシテ解熱、鎮痛劑トシテ用キラル

七十三 (劇)吐 根

暗灰褐色ニシテ通常彎曲シ兩端狹細トナリ分岐セス外面ニ膨起セル輪節ヲ有シ殆ト球數ノ如シ、皮部ハ木心ト離レ易シ、微弱ナル特異ノ臭氣ヲ有シ味不快ニシテ微ニ苦シ、木心ヲ除キタルモノヲ使用ス

主トシテ祛痰藥トシテ用キラル

七十四 「ゼネガ」根 (「ゼネガ」)

外面類黄色ニシテ多少分岐シ不正ニ彎曲シ根頭ニ多數ノ殘莖及鱗葉ヲ具フル萌芽ヲ帶フ、水煎液ハ特異ナル臭氣ヲ有シ味、粘滑性ニシテ辛ク之ヲ振盪スレハ泡立ツ

主トシテ浸劑トナシ祛痰ニ用キラル

十分乾燥シタル後濕氣ヲ避ケ貯フ

七十五 乳 糖

類白色ノ結晶或ハ白色結晶性ノ粉末ニシテ臭氣ナク淡甘味ヲ有ス水ニ溶ケ無

色澄明ノ液トナリ中性反應ヲ呈ス
主トシテ賦形藥トシテ用キラル

七十六 (劇) 「サントニン」

光澤アル無色中性ノ小葉狀結晶ニシテ光ニ觸ルレハ黃色ニ變ス、水ニ溶ケ難
シ、酒精「クロロフォルム」ニ溶ク

驅虫藥トシテ用キラル

光ヲ遮リ貯フ

七十七 芥子末

類黃色ノ粉末ニシテ微ニ酸味ヲ帶ヒ後辛シ、之ニ微温湯ヲ加ヘ攪拌スルトキ
ハ甚シク鼻目ヲ刺戟スル物質ヲ化生ス、濕氣ヲ吸收スルトキハ効力ヲ失フ、
芥子泥トナシ誘導藥トシテ用キラル
密閉器中ニ貯フ

七十八 (劇) 「ヂフテリア」血清

政府ノ檢定ヲ經タルモノニシテ之ニ液體「ヂフテリア」血清、乾燥「ヂフテリ
ア」血清ノ二種アリ

液體「ヂフテリア」血清ハ類黃色澄明或ハ微ニ濁リタル液ニシテ防腐ノ目的ニ
加ヘタル藥物ノ臭氣ヲ有シ、免疫單位數ニ從ヒ數種ノ號數ニ區別セラル

凍結ノ虞ナキ冷暗所ニ貯フ但一年以上ニ過クヘカラス

乾燥「ヂフテリア」血清ハ黃色澄明ノ小葉片或ハ帶黃白色ノ粉末ナリ、用ニ臨

テ石炭酸水(0・5%)又ハ滅菌蒸餾水ニ溶スヘシ

濕氣ヲ避ケ冷暗所ニ貯フ

七十九 (劇) 破傷風血清

政府ノ檢定ヲ經タルモノニシテ之ニ液體破傷風血清、乾燥破傷風血清ノ二種
アリ

液體破傷風血清ハ類黃色澄明或ハ微ニ濁リタル液ニシテ防腐ノ目的ニ加ヘタル藥物ノ臭氣ヲ有シ、免疫單位數ニ從ヒ數種ノ號數ニ區別セラレ凍結ノ虞ナキ冷暗所ニ貯フ、但シ一年以上ニ過クヘカラス
乾燥破傷風血清ハ黃色透明ノ小葉片或ハ帶黃白色ノ粉末ナリ用ニ臨ミテ石炭酸水(〇・五%)又ハ滅菌蒸餾水ニ溶スヘシ
濕氣ヲ避ケ冷暗所ニ貯フ

八十 酒精

無色澄明揮發性ノ液ニシテ特異ノ臭氣ヲ有シ味灼クカ如シ、火ヲ引キ易ク之ニ點火スレハ淡藍色ノ火焰ヲ放チテ燃燒ス、水ニハ澄明ニ溶ク

比重 〇・八三〇—〇・八三四

外ニ純「アルコホル」(比重〇・七九六—〇・七九七)アリ

金屬罐若ハ硝子瓶ニ入レ密栓シ冷所ニ貯フ

八十一 丁幾劑 丁幾劑ハ植物質及其ノ他ノ藥物ニ稀酒精若ハ酒精ヲ加ヘ成分

ヲ抽出シ得タル液狀藥ナリ

一 苦味丁幾 (苦丁)

龍膽根、橙皮、莪朮ノ粗末ニ稀酒精ヲ加ヘ浸出シタル黃褐色ノ液ニシテ芳香ヲ有シ味苦シ

主トシテ健胃劑トシテ用キラル

二 (劇)「ヨード」丁幾 (沃丁)

「ヨード」一分、酒精十九分ヲ取り溶解シタルモノニシテ暗赤褐色ノ液ヲナシ「ヨード」ノ臭氣ヲ有シ熱ニ逢ヒテ全ク揮散ス

共栓硝子瓶ニ入レ光ヲ遮リ冷所ニ貯フ

携帯用トシテ管入「ヨード」丁幾(〇・七立方「センチメートル」)、細管入

「ヨード」丁幾(〇・四立方「センチメートル」)アリ

藥劑行李入組ノモノニ「ヨード」四分「ヨードカリウム」一・五分ヲ水〇・五分ニ溶シ之ヲ硝子管ニ融閉シタルモノアリ之ヲ五「ヨードカリウム」液ト云フ五「ヨードカリウム」液ヲ使用セントセハ其ノ一箇ヲトリ兩端ニ施セル刻線ノ部分ヲ折リ其ノ内容ヲ硝子瓶ニ入レ別ニ酒精約百立方「センチメートル」ヲ液量器ニ量リテ融閉硝子管内ノ「ヨード」ヲ洗ヒ落シタル後之ヲ前硝子瓶中ニ加ヘテ溶解シ製スヘシ

八十二 硼酸軟膏 (硼膏)

硼酸一分、「グリセン」二分、單軟膏八分ヲ取り研和シ製シタルモノニシテ淡黄色ノ軟膏ナリ、不快ナル臭氣アルモノハ使用ニ適セス
刺戟少キ軟膏トシテ外被病及創面等ニ用キラル
密閉器中ニ貯フ

八十三 黄色「ワセリン」「ワセリン」

石油ノ蒸餾殘渣ヨリ得タル黄色透明軟膏様ノ物質ニシテ熱スレハ澄明無臭中性ノ液トナル水、酒精ニ殆ト溶ケス、石油「ベンチン」ニ溶ク、外觀顆粒狀或ハ結晶狀ヲ呈スルモノハ使用ニ適セス
主トシテ軟膏ノ基礎藥トシテ用キラル

八十四 藥用酒

稀酒精ニ桂皮細末及白糖ヲ加ヘ製シタル酒精劑ニシテ黃褐色芳香性ノ液ナリ
藥用酒ニ薄荷油ヲ加ヘタルモノヲ「メンタ」酒ト稱ス
興奮藥トシテ用キラル

八十五 酸化亞鉛 (亞鉛華)

微細ナル輕キ白色ノ粉末ニシテ臭味ナク水ニ溶ケス稀酸類ニ溶ク

八十六 (劇)硫酸亞鉛 (皓礬)

無色ノ結晶ニシテ水ニ溶ケ酸性反應ヲ呈ス、酒精ニ溶ケス

點眼藥及催吐藥トシテ用キラル
硝子瓶ニ入レ密栓シテ貯フ

第二 試 藥

第八百七十一 試藥ハ特別ノ目的ヲ有スルモノノ外、總テ純粹品ヲ使用スルモノニシテ其ノ數頗ル多ク之ヲ別チテ藥物檢査用試藥、定規液、診斷用試藥及診斷用血清トシ診斷用試藥ヲ更ニ分チテ檢尿用試藥、胃液檢査用試藥、血液檢査用試藥、細菌檢査用試藥及顯微鏡用試藥トス
試藥ノ名票ニハ試藥ナル文字ヲ表記シ治療藥ト區別シテ貯藏シ品質ヲ損セス危險ヲ招カサル如ク注意スルヲ要ス

第三 療 養 品

第八百七十二 療養品ハ患者療養ノ目的ヲ以テ使用スル榮養品ニシテ其ノ品種ヲ限定セラレス、藥局方ニ收載セラレタルモノヲ示セハ左ノ如シ

一 肉 汁 (「スープ」)

脂肪組織ヲ除キタル新鮮ナル牛肉(鶏肉)ニ百分ヲ取リ細碎シ水四百分ヲ加ヘ屢々攪拌シツツ二時間放置シタル後湯煎器ニ於テ加熱シ大約半量トナルニ至リ十分冷却シ濾布ニテ濾シ其ノ濾液ニ「クロールナトリウム」一分ヲ加ヘテ製ス

肉「エキス」ヲ用キテ肉汁ヲ製スルニハ肉「エキス」三「グラム」ニ温湯百立方「センチメートル」ヲ加ヘテ溶解シ之ニ食鹽〇・五「グラム」ヲ加ヘテ製スヘシ微ニ濁リタル淡黄色ノ液ニシテ佳快ノ香味ヲ有シ、微ニ酸性反應ヲ呈ス、用ニ臨ミテ製スヘシ

二 牛 乳

健康ナル牝牛ヨリ新ニ搾リタル白色或ハ帶黃白色ノ液汁ニシテ甘味及固有ノ香氣ヲ有ス

比重一・〇二八—一・〇三四、脂肪二・六六五%以上ヲ含ム

三 貯藏牛乳

煉乳及稠乳ノ區別アリ

煉乳ハ牛乳ニ蔗糖ヲ加ヘ、稠乳ハ之レヲ加ヘステ蒸發シテ濃厚トナシ鐵葉罐ニ入レ密閉シタルモノナリ

煉乳ハ白色或ハ帶黃白色粘稠ノ液ニシテ特異ノ香氣及強キ甘味ヲ有ス、四乃至五倍ニ稀釋シテ用キラル

稠乳ハ類黃色稍、濃稠ノ液ニシテ淡甘味ヲ有スニ、三倍ニ稀釋シテ用キラル冷所ニ貯フ

四 鶏 卵

外殼ハ白色或ハ赤褐色ニシテ一箇ノ重量大約四十瓦以上ヲ有シ、卵黃ハ卵白ノ半量以上ヲ占ム

鶏卵ハ明處ニ向テ透視スルニ半透明ニシテ暗黒ノ部ヲ認メス又一クロールナトリウム「溶液(比重一・〇七八—一・〇九四)中ニ投スルニ浮游セサルモノヲ使用スヘシ

第五章 消耗品

第一 醫療用消耗品

第八百七十三 醫療用消耗品ノ主ナルモノ左ノ如シ

一 防水紙

強靱ナル楮紙ヲ大豆ノ搾汁ニ浸タシ乾燥シ更ニ「フォルムアルデヒド」溶液中ニ二乃至三時間放置シタル後乾燥シタルモノニシテ光澤アル半透明、不透水性ノ紙ナリ

其ノ他防水紙ニハ「パラフィン」紙、硫酸紙(「ベルガメント」紙)、亞麻仁油紙

及桐油紙等ノ種類アリ

二 「ウイスコイド」紙

光澤ヲ有スル不透水性透明強靱ノ紙ナリ、酸性ヲ呈シ或ハ表面ニ異物ヲ夾雜スルモノハ使用セサルヲ可トス

三 綿

白色ノ長キ纖維ニシテ粉末狀ノ短キ纖維又ハ殻皮等ヲ認メサルモノヲ良トス
紙ニテ包ミ密閉器中ニ貯フ

四 脫脂綿

脫脂セル純白色、無臭ノ綿ナリ

強靱ナル紙ヲ用キテ密包シ塵埃ヲ避ケ乾所ニ貯フ

五 脫脂「ガーゼ」(「ガーゼ」)

純白、無臭ノ紗布ニシテ概ネ幅三十「センチメートル」長サ十「メートル」重量

百「グラム」ヲ有ス

強靱ナル紙ヲ以テ密包シ塵埃ヲ避ケ乾所ニ貯フ

汚染シタル「ガーゼ」ヲ再製スルニハ豫メ水中ニ浸シ攪拌シテ汚物ヲ除キタルモノヲ覆蓋アル鐵鍋中ニ取り苛性「ナトロン」二十分、石鹼三分、水一千分ヨリ成レル溶液ヲ加ヘ遁散スル水分ヲ補ヒツツ二乃至三時間煮沸シタル後之ヲ水洗シ液分ヲ去リ漂白液中ニ於テ約一乃至二時間漂白スヘシ、然ル後水ヲ以テ洗ヒ更ニ之ヲ粗製碳酸一分水百分ヨリ成ル液中ニ二乃至三時間浸漬シ次ニ水洗シテ酸性ヲ認メサルニ至リ搾リテ塵埃ヲ避ケ乾スヘシ

漂白液ハ「クロール」石灰一分、水五分ノ泥狀混和物ニ粗製炭酸「ナトリウム」二分、水四十五分ヨリ成レル溶液ヲ混和シ五乃至六時間放置シ其ノ上澄液ヲ傾取シテ使用ス

六 三角巾

幅約七十五「センチメートル」ノ金巾ヲ取り其ノ側縁ニ於テ幅ニ倍スル底邊ヲ取り、幅ヲ高サトナシ二等邊三角形ニ截斷シ製ス

七 昇汞「ガーゼ」

脱脂「ガーゼ」(長サ約五「メートル」)ニ「フロキシシン」ヲ用キテ著色シタル昇汞溶液ヲ吸收セシメ乾燥シタル後「ウイスコイド」紙ニ包ミ蒸氣滅菌ヲ施シ更ニ強靱ナル紙ニテ密包シタルモノナリ其ノ外部ニ名稱、數量、製造年月ヲ明記セル名票ヲ附ス

密閉器ニ入レ光ヲ遮リ乾所ニ貯フ

八 昇汞「ガーゼ」包

昇汞「ガーゼ」三十「センチメートル」平方ノモノニ枚ヲ「ウイスコイド」紙ニ包ミテ蒸氣滅菌ヲ施シ更ニ赤色「ウイスコイド」紙ヲ用キテ密包シ全面ニ防水塗料ヲ塗り名稱、製造年月ヲ表記セルモノナリ、一箇ノ重最約十「グラム」ヲ有ス

ス

密閉器ニ入レ光ヲ遮リ乾所ニ貯フ

九 「ヨードフォルムガーゼ」

脱脂「ガーゼ」ニ「ヨードフォルム」ヲ吸收セシメタルモノニシテ黄色ヲ呈シ固有ノ臭氣アリ其ノ一包中ニハ長サ三十「センチメートル」ニ截斷シタルモノ十枚ヲ有ス

密閉器ニ入レ光ヲ遮リ乾所ニ貯フ

十 綑帶包

昇汞「ガーゼ」ヲ三十「センチメートル」平方ニ截チタルモノニ枚ヲ一包トナシ其ノ二包ヲ防水シタル三角巾ニ包ミ、更ニ其ノ外部ヲ茶褐色防水布ニテ覆ヒ、其ノ兩端ヲ裏面ニ折り絲ニテ縫合シ製造年月ヲ記セル封緘紙ヲ貼リタルモノナリ

除濕器中ニ貯フ

十一 「ギブス」銅網繃帶

糊附「ガーゼ」一枚、銅網一枚、煨製硫酸「カルチウム」七百「グラム」ヲ用キテ製ス之ヲ製スルニハ糊附「ガーゼ」ヲ長ク展伸シ其ノ一面中央部ニ銅網ヲ重ネ之ニ煨製硫酸「カルチウム」ヲ平等ニ擴敷シタル後「ガーゼ」ノ兩縁ヲ折りテ銅網ヲ包ミ圓柱形木片ヲ心トシ其ノ一端ヨリ卷キテ軸トナシ外部ヲ濾紙ニテ包ミ絲ニテ結束シ「ブリキ」罐ニ入レテ密封スヘシ用ニ臨ミテ繃帶ヲ罐ヨリ出シ縮紐ヲ撮ミテ温水中ニ浸シ兩手ニテ壓シ氣泡ノ上昇セサルニ至リ之ヲ取出シ紐ヲ解キテ使用ス

十二 「ガーゼ」袋

地質厚キ晒綾織綿布ニテ製シタル囊ニシテ囊體ノ兩側ニ二條ノ紐ヲ著ケ頸ニ懸クルニ便ナラシム

十三 木綿

白色ノ綿布ニシテ概ネ幅三十「センチメートル」、長サ九「メートル」、重量二百三十「グラム」ヲ有ス糊、石灰、水分等ノ少キヲ良トス

十四 絹絲

生絹絲若ハ練絹絲ヲ各種ノ太サニ撚リ合セタルモノニシテ其ノ太サニヨリ號數ヲ區分ス、各號十「メートル」ノ重量ハ左ノ如シ

- 一號 五・四「グラム」
- 二號 一・八「グラム」
- 三號 一・二五「グラム」
- 四號 一・〇八「グラム」
- 五號 〇・八一「グラム」
- 六號 〇・五四「グラム」

七 號

〇・二七「グラム」

九 號

〇・一八「グラム」

十五 「フォルマリン」絹絲

絹絲ヲ「フォルムアルデヒド」水溶液(一%)中ニ於テ約一時間煮沸シタル後
搾リ塵埃ヲ避ケテ乾燥シ長サ三十「センチメートル」ニ截斷シタルモノ二條
ヲ、「トリオキシ、メチーレン」ノ小許ト共ニ「ウイスコイド」紙ニ包ミ密封シ
更ニ其ノ外部ヲ「バラフィン」ヲ衣シタル強韌ナル紙ニテ密封シタルモノナ
リ

密閉器中ニ貯フ

十六 脫脂「フラネル」

綿「フラネル」ヲ脫脂シタル白色柔軟ノ綿布ナリ
強韌ナル紙ニテ包ミ塵埃ヲ避ケ乾所ニ貯フ

十七 「ゴム」布

特別ニ織リタル金巾ノ兩面又ハ半面ニ彈性「ゴム」、酸化亞鉛、硫黃等ヨリ成
レル混和物ヲ薄ク塗布シ蒸熱シテ製シタルモノニシテ類白色、柔軟ノ重キ布
片ナリ幅九十一「センチメートル」アリ消毒ニハ石炭酸水又ハ昇汞水ヲ用キ
血、膿等附著セハ食鹽水ニテ洗フヲ可トス
兩面引ノモノハ手術臺用ニ、半面引ノモノハ防水用ニ用キラル
卷キテ貯フ

十八 外用筆

太キ羽根ノ莖ニ軟キ獸毛ヲ堅ク植ヘ長キ木柄ヲ附シタルモノナリ、藥物ヲ塗
ルニ用キラル

防蟲法ヲ施シテ貯フ

十九 刷 毛

白キ光澤アル剛毛ヲ用キテ造ル、植毛ハ堅牢ニシテ脱ケサルモノヲ良トス、之ニ爪洗用、皮膚洗用ノ別アリ

爪洗刷毛ハ齒磨楊子ニ似テ形大ナリ、柄ノ末端中央部ニ在ル小圓形裂口ハ爪ノ垢ヲ去ルノ用ニ供ス

皮膚洗刷毛ハ長圓形ニシテ羅紗刷毛ニ似タリ

防蟲法ヲ施シテ貯フ

二十 「ゴム」指套

良質ノ彈性「ゴム」ニテ製シタルモノニシテ褐色、透明、柔軟ナル薄キ囊體ヲナシ彈性ヲ有ス、日光ニ觸ルルトキハ變質シ易シ

滑石ヲ撒布シテ貯フ

二十一 吳氏副木

薄キ檜、「さはら」、等ノ木片ノ一面ニ白キ布ヲ張り他面ニ淺ク數條ノ裂痕ヲ

施シタルモノニシテ厚サ四「ミリメートル」ヲ有ス大小アリ背囊入組用ノモノニアリテハ長サ小ヨリ短シ任意ノ彎曲ヲ與ヘ身體ノ表面ニ適應セシム

二十二 薄片副木

通常檜、「さはら」、等ノ木片ヲ薄ク割リタルモノニシテ長サ三十三「センチメートル」、幅九・五「センチメートル」、厚サ一「ミリメートル」ヲ有ス、木理直ニシテ節ナキモノヲ良トス

二十三 紙副木

厚キ「ボール」紙ナリ、使用スヘキ部位ニヨリ適當ノ大サト形狀トニ截斷シテ用キラル

二十四 以上掲クルモノノ外、卷軸帶、紋巴、氷囊、消毒用絲瓜、安全針、縫合針等アリ

第二 試験用消耗品

第八百七十四

試験用消耗品中ノ主ナルモノ左ノ如シ

一 濾紙

純白色柔軟ニシテ彈性アル纖維ヲ用キ填料ヲ加ヘス厚ク抄紙シタルモノニシテ液ヲ濾スニ用キラル

二 試験紙

濾紙ニ植物性色素ヲ吸收セシメタルモノニシテ赤色、黄色、藍色ノ三種アリ孰レモ細ク截斷シ其ノ十枚ヲ一束トス手指ヲ觸ルヘカラス

試験紙ヲ用キテ液體ノ酸性又ハ「アルカリ」性ヲ知ルニハ乾燥セル清潔ノ錫子ヲ以テ試験紙ノ一端ヲ撮ミ之ヲ液體中ニ浸スヘシ此ノ際赤色試験紙ヲ藍色ニ變スル液體ヲ「アルカリ」性ト稱シ、藍色試験紙ヲ赤色ニ變スル液體ヲ酸性ト稱ス

黄色試験紙ハ遊離「アルカリ」ニヨリテ特異ナル赤褐色ヲ呈スルヲ以テ赤色試験紙ノ如ク使用セラル就中硼酸ニヨリテ赤褐色ヲ呈スルヲ特異トス褐色、硝子瓶ニ入レ密栓シ貯フ

三 「ゴム」管

加硫「ゴム」管、蒸和「ゴム」管ノ二種アリ

加硫「ゴム」管ハ黒褐色、半透明ニシテ著シク彈性ヲ有ス

蒸和「ゴム」管ハ類白色、不透明ニシテ彈力弱シ

四 「ペトリ」皿

硬性硝子製有蓋ノ皿ニシテ大小アリ

五 物體板（「オブエクト、グラス」）

表面平滑ナル無色、透明ノ硝子板ニシテ厚サ〇・六乃至一・二「ミリメートル」ヲ有ス

新シキモノハ稀硫酸ニテ洗ヒ使用スヘシ又汚レタルモノハ洗濯シ或ハ柔軟ナル木綿ニテ拭ヒタル後更ニ石油「ベンチン」若ハ「ガソリン」ニテ拭ヒ去ルヘシ
除濕器或ハ「ワセリン」中ニ貯フ

六 陷凹物體板

光澤アル無色、透明ノ硝子板ニシテ厚サ一・二「ミリメートル」ヲ有シ其ノ上面ノ中央ニ直径十四「ミリメートル」深サ〇・五「ミリメートル」ノ陷凹部アリ
陷凹部ハ磨キテ圓滑ナリ淨拭法ハ物體板ニ同シ

除濕器或ハ「ワセリン」中ニ貯フ

七 蓋 板(「デッキ、グラス」)

光澤アル無色ノ薄キ硝子板ニシテ其ノ大サハ通常十八「ミリメートル」平方或ハ幅二十四、長サ三十二「ミリメートル」ニシテ厚サ〇・一乃至〇・一八「ミリメートル」ヲ有ス

淨拭法ハ物體板ニ同シ

除濕器或ハ「ワセリン」中ニ貯フ

八 試験管

硬質硝子製ニシテ其ノ大サ種々アリ

第三 調劑用消耗品

第八百七十五 調劑用消耗品ノ主ナルモノ左ノ如シ

一 藥包紙

「ウイスコイド」紙又ハ「ロール」薄葉紙ヲ概ネ左記ノ大サニ截斷シタルモノニシテ赤色ノモノト、白色ノモノトアリ、赤色ノモノハ外用藥ヲ包ミ或ハ甲、乙兩種ノ藥物ヲ區別スルニ使用セラル例之沸騰散ノ酸ト、炭酸「アルカリ」トヲ區別スルカ如シ

大 一二「センチメートル」平方

中 一〇・五「センチメートル」平方

小 九「センチメートル」平方

二 藥袋

薄キ模造紙ニテ製シタルモノニシテ劑名、用法、患者ノ姓名、室號等ヲ記入スヘキ諸欄ヲ印刷ス、印刷ハ内用藥ヲ入ルルモノニアリテハ黑色、外用藥ヲ入ルルモノニアリテハ赤色トス

三 曲物

木製、厚紙製、「セルロイド」製ニシテ大小各種アリ何レモ盆狀ニシテ蓋ヲ具フ

四 投藥瓶

一號(六百「グラム」入)、二號(三百「グラム」入)、三號(百「グラム」入)、四號(三十「グラム」入)ノ區別アリ何レモ共栓又ハ木栓付硝子瓶ニシテ細口、廣口又ハ無色、褐色等ノ種類アリ

五 蛤貝

蛤ノ空殼ニシテ大小各種アリ、熱湯ニテ洗ヒ清潔ナルモノヲ使用ス、兩面ノ殼ハ重量殆ト相等シ、之カ離開ヲ防ク爲メ蝶鉸部ハ膠ニテ固著ス膏藥ヲ入ルルニ用キラル

六 瓶札

藥名箋、投藥瓶札、名票紙ニ區分ス

- (一) 藥名箋ハ地質滑澤ナル印刷洋紙ニ黑色又ハ赤色ノ輪廓ヲ印刷シタルモノニシテ大小數種アリ
- (二) 投藥瓶札ハ印刷洋紙又ハ木札ニ印刷シタルモノニシテ内用藥ニハ白色、外用藥ニハ赤色ニ染メタルモノ用キラル
- (三) 名票紙ハ印刷洋紙ニ多數ノ輪廓ヲ一連ニ印刷シ各輪廓ノ周圍ニ切取線ヲ附シ裏面ニ濃厚ナル「デキストリン」溶液ヲ塗リタルモノナリ

各紙間相互ノ粘著ヲ防キ貯フ

第四 普通消耗品

第八百七十六 普通消耗品ノ主ナルモノ左ノ如シ

一 蠟燭

「パラフィン」又ハ「ステアリン」蠟ヲ用キ木綿糸ヲ心トナシ製シタルモノナリ、概ネ徑二「センチメートル」、長サ十八「センチメートル」ニシテ五十度以下ノ温ニ於テ融解セサルモノ用キラル

二 炭化石灰

灰白色ノ塊片ニシテ微ニ不快ナル臭氣アリ水ニ逢ヘハ瓦斯ヲ發生シツツ崩壊ス、品質種々アレトモ通常八十%以上ノ炭化石灰ヲ含有シ其ノ一「キログラム」ヨリ三百「リットル」ノ「アセチレン」瓦斯ヲ發生ス之ニ點火スレハ白色ノ光ヲ放チテ燃燒ス

「アセチレン」瓦斯ハ「アムモニア」ノ存在ニ於テ銅ト作用シ爆發性ノ銅化合物ヲ生スルコトアリ又炭化石灰ニ過量ノ水ヲ加フルトキハ一頓ニ多量ノ瓦斯ヲ發散シテ火ヲ引キ或ハ大氣ノ混合ニ因リテ爆發ス共ニ注意ヲ要ス
「ブリキ」罐ニ入レ蓋部ヲ鐵著シ密閉シ貯フ

三 傷票

戰時負傷者ノ隊號、氏名、傷名、部位、輸送上ノ注意等ヲ記入スヘキ紙票ナリ

強靱ナル紙ニテ製シ其ノ兩面ニ規定ノ版式ニヨリ印刷セシモノニシテ上端ノ鳩目孔ニ紐ヲ著ケ患者ノ衣服ニ結ヒ著クルニ便ナラシム、又兩側ニ切取線アリ傷票二十枚ヲ一束トナシ表紙ヲ附シ其ノ裏ニ使用上ノ注意ヲ印刷ス

四 簿冊類

戰時衛生勤務ニ必要ナル事務用ノ帳簿並規定ノ用紙類ニシテ其ノ種類概ネ左

ノ如シ

行軍患者等差證、死傷手簿、發送患者名簿、收患者名簿、入院患者名簿、病床日誌(描寫圖共)、處方錄、體溫表、齒科診斷簿用紙、戰闘死傷名簿、戰闘死傷表、入院患者調査票、患者送狀、患者月報、患者旬報、患者輸送旬報、患者附託品表、器械出納簿、器械修理簿、藥物出納簿、消耗品出納簿、衛生材料月報、戰闘衛生材料消費表、戰闘衛生材料補給消費表、戰闘衛生材料補給表、患者被服月報、通信紙

第六章 衛生材料格納保全方法

第八百七十七 衛生材料ノ良否ハ患者ノ治療ニ影響ヲ及ホスモノナレハ常ニ之ヲ愛護シ保全手入ニ方リテハ苟モ形式ニ流レス實施スヘキ事項ニ就テハ能ク其ノ理由ヲ知得スルヲ要ス

格納保全方法ノ概要左ノ如シ

第八百七十八 鋼鐵製品ノ發銹

- 一 鋼鐵製品ヲ大氣中ニ放置スルトキハ銹ヲ生ス銹ハ大氣中ノ濕氣、酸素、炭酸等ノ作用ニヨリテ生ス
 - 二 鋼鐵製品ハ酸類、酸性蒸氣、其ノ他瓦斯類ト接觸スルトキハ侵蝕セラル
 - 三 鋼鐵製品ハ汗、糊、澁、膠質、食鹽等ト接觸スルトキハ侵蝕セラル、殊ニ水分ノ作用アルトキハ其ノ侵蝕度著シ
 - 四 鋼鐵製品ハ變質シ易キ揮發油、脂肪類、染色セル布片及不純ノ塗料ニヨリテ侵蝕セラル
 - 五 鋼鐵製品ハ硫化「ゴム」製品、有機質其ノ他鐵ニ作用スル諸物質ニヨリテ侵蝕セラル
- 鐵銹ヲ防クニハ如上ノ原因ヲ全然除去スルコトニ努ムヘシ之カタメ行フヘキ主要ナル防銹法ハ左ノ如シ

一 除濕法ヲ行フ

煨製石灰ヲ盛リタル除濕器中ニ鐵製品ヲ貯藏スルトキハ濕氣、塵埃、瓦斯其ノ他ノ有害性物質ノ接觸ヲ防キ發銹スルコトナシト雖實施上困難ナルカタメ除濕貯藏ヲ行フモノハ精巧ナル器械ニ限レリ
革質、牛角等ヲ混用セル鋼鐵製品ハ除濕貯藏ヲ避クルヲ要ス

二 淨拭ヲ油引ヲ行フ

淨拭ハ鋼鐵製品ニ附著セル不潔物ヲ去リ發銹ノ原因ヲ除去スルヲ目的トシ又油引ハ濕氣及有害瓦斯ノ接觸ヲ防クニアリ之ヲ行フニハ乾燥セル場所ヲ選ヒ塵埃並有害瓦斯ヲ避ケ談話ヲ禁スル等細心注意スルヲ要ス、殊ニ鋼鐵製品ハ汗シミタル手指ニテ取扱フヘカラス必ス清潔ナル手袋ヲ著ケ磨革若ハ清潔ナル「ガーゼ」ヲ用キテ丁寧ニ淨拭スヘシ、淨拭シタルモノハ流動「バラフイ」又ハ黃色「ワセリン」ヲ塗リタル「ガーゼ」ニテ平等ニ拭ヒ外面ニ木綿織

維、指紋、油滴等ヲ一切殘スヘカラス、「ニッケル」鍍金ヲ施シタルモノニテ翳ノ去リ難キトキハ微細ナル角粉ヲ著ケタル軟布ニテ擦リ試ムヘシ

除濕貯藏ヲ行ハサルタメ特ニ多量ノ油引ヲ要スルモノニハ「礬砂」「カリ」「石鹼」又ハ「礬砂」「ラノリン」ヲ平等ニ塗布ス

三 礬砂紙ニ包ミ貯フ

礬砂紙ニ包ミタルモノハ濕氣或ハ水ニ潤フモ發銹スルコトナク防銹ノ効著シキモノトス、供用品等ニシテ礬砂紙ニ包ム煩ヲ避ケントスルトキハ稀薄ナル礬砂液中ニ貯フルモ可ナリ

四 「ゴム」製品ヲ混用シタル鋼鐵製品ハ之ヲ分離シテ貯フ

第八百七十九 革具ノ變化

一 革具類ヲ大氣中ニ放置スルトキハ生黴ス、是レ大氣中ノ塵埃、水分、菌糸等ノ附著スルニヨル

二 革具類ヲ永ク放置スルトキハ脂肪ヲ失ヒ脆弱トナル
是等ノ變化ヲ防クニハ左ノ方法ヲ實施スヘシ

一 革具拭ヲ行フ

表裏兩面ヲ乾キタル布片若ハ刷毛ニテ拭ヒタル後其ノ表面ニ革具「クリーム」ヲ塗り刷毛ニテ摩擦スヘシ、脂肪ノ減失シタルモノニハ革具「クリーム」ヲ塗ルニ先チ表面(銀面)ニ萎油ヲ塗り之ヲ吸收セシムヘシ
革具類ノ汚染シタルモノハ前方法ヲ行フニ先チ5%石鹼水ニテ洗滌シタル後布ニテ水分ヲ能ク拭キ去リ陰乾スヘシ

二 止微ヲ行フ

刷毛或ハ絨布ニテ擦リタル後5%「クレゾール」石鹼水ニテ拭ヒ陰乾スヘシ
革具類ノ水ニ濕リタルモノハ日光又ハ火氣ヲ用キテ乾燥スヘカラス革質ヲ甚クシク硬化セシムレハナリ

第八百八十 「ゴム」製品ノ變化

一 「ゴム」製品ヲ大氣中ニ放置スルトキハ變質シテ彈性ヲ失ヒ龜裂ヲ生シ或ハ粘著スルニ至ル其ノ變化ノ遲速ハ「ゴム」質ノ良否ニ關スルモ大氣、光線ノ作用等ニヨルコト多シ

二 「ゴム」製品ヲ強ク曲ケ貯フルトキハ其ノ品質ヲ損ス

是等ノ變化ヲ豫防スルニハ炭酸瓦斯貯藏法及硼砂液貯藏法アリ硼酸液貯藏法ハ炭酸瓦斯貯藏法ノ補助方法ニシテ蒸和「ゴム」製品ノ一部及更新豫定ノ「ゴム」管ニ應用スルモノトス

凍結シタル「ゴム」製品ハ温所ニ放置シ其ノ軟化ヲ待テ取扱フヘシ然ラザレハ實質ヲ損ス

第八百八十一 眞鍮製品ノ除銹

眞鍮製品ニ翳ヲ生シタルトキハ磨滅ヲ招カサル程度ニ於テ微細ナル炭末若ハ眞鍮

磨ヲ著ケタル軟布ニテ磨クヘシ、眞鍮磨ヲ使用シタル後ハ清潔ナル布片ニテ十分ニ之ヲ拭ヒ去ルヘシ然ラサレハ翳ヲ生ス

第八百八十二 入組器械類ノ詰合セ

入組器械類ノ詰合セ方ニ就テハ深キ注意ヲ要ス其ノ概要左ノ如シ

- (一) 包装紙、綿、絲瓜等ノ充填物ヲ用キテ内容品ノ移動ヲ防クコト
- (二) 藥物容器ノ破損其ノ他充填物等ニヨリ入組品ヲ損傷セシメサルコト
- (三) 一旦使用シタル器械類ハ手入後ニアラサレハ格納セサルコト、特ニ水分アルモノハ之ヲ嚴禁ス

(四) 「ヨード」丁幾ノ入込アル器械類ハ「ヨード」ニヨリ侵蝕セラル、之ヲ防クニ

ハ「ヨード」丁幾ノ容器ヲ十分ニ拭ヒ固ク栓塞シタル後瓶口ヲ銅鋼ニテ覆ヒ或ハ「アルミニウム」製ノ覆帽ヲ施スコト

「ヨード」丁幾ニ使用シタル外用筆ハ拭ヒテ「アルミニウム」製ノ容器ニ納ムルコト

第十一編 調劑術

第一章 調劑及處方

第八百八十三 調劑トハ處方箋又ハ處方録ニ依リ藥ヲ調合スルヲ云フ

第八百八十四 調劑ハ藥劑官又ハ軍醫之ヲ行ヒ看護長ハ其ノ助手ヲナスモノトス

第八百八十五 處方箋處方録ニ記載セラルル藥物ハ陸軍藥局方ニ定メラレタルモノヲ用キラル

第八百八十六 陸軍藥局方トハ陸軍ニテ使用スル藥物消耗品等ノ性状、検査法、貯藏法等ヲ定メタル規定ナリ

第二章 重量、容量及藥ノ量方

第八百八十七 藥ヲ量ルニハ重量ニヨル然レトモ液體ニシテ其ノ比重蒸餾水ニ近キ

モノハ容量ニヨルコトアリ

第八百八十八 重量ノ單位ハ「グラム」ヲ基トナシ十進法ニ從ヒ増減ス

第八百八十九 藥ノ分量ヲ處方箋、處方録ニ記載スルニハ「グラム」ヲ單位トセル點ト數字トニテ示スヲ例トス故ニ點ノ位置ト零ノ箇數トヲ誤ルトキハ分量ニ著シキ差ヲ來タスヲ以テ注意スヘシ(附表第三參照)

處方箋

(半紙八ツ切型)

處方箋			
△何日分	△何月何日	醫官印	
			△何等卒 △何之誰
			等級 氏名
			△何 中
			隊 號
△アスピリン錠 三 箇			
右一日 三回 食後分服			
△二%鹽剝水 三〇〇・〇			
(印)右一日 數回 含嗽			

△ハ記入スヘキ箇所ヲ示ス

調劑術 重量、容量及藥ノ量方

處方錄 第二號紙

(用紙半切型)

處方錄		
-----	--	--

第八百九十 藥百分中ニ含まルル成分ノ比ヲ「プロセント」ニテ示シ符號%ヲ使用ス、例ヘハ硼酸二分ヲ取り水ヲ加ヘ溶解シテ全量百分トナセル硼酸溶液ヲ二%ト云フカ如シ

第八百九十一 容量ノ單位ハ立方「センチメートル」ヲ基トシ十進法ニ從ヒテ増減ス、攝氏四度ニ於ケル蒸餾水一「グラム」ノ容積ハ一立方「センチメートル」ナリ (附表第三參照)

第八百九十二 液狀ノ藥物ニシテ通常一「グラム」以下ヲ用キルモノハ滴數ヲ以テ量ルヲ便トスルコトアリ滴數ハ滴量瓶ヲ以テ量ルモノトス滴量スヘキ藥物ハ豫メ一「グラム」ノ滴數ヲ定メ置クヘシ

第三章 藥ノ取扱方

第八百九十三 藥ハ人體ニ及ホス作用ノ強弱ニヨリ毒藥、劇藥、通常藥ニ分ツ

一 毒藥ハ其ノ作用猛烈ニシテ用量ヲ誤ルトキハ生命ヲ危クス故ニ最モ注意シテ取扱ヒ容器ニハ赤欄赤字ノ名票ヲ附シ他ノ藥ト區別シ鎖鑰アル場所ニ納ムヘシ

二 劇藥ハ毒藥ニ次テ劇シキ作用アリ故ニ容器ニハ赤欄黒字ノ名票ヲ附シ他ノ藥ト區別シ注意シテ納ムヘシ

三 通常藥ハ毒藥、劇藥ノ如キ劇シキ作用ナキモ用量、用法等ヲ誤ルトキハ害ヲナスコトアリ容器ニハ黒欄黒字ノ名票ヲ附ス

第八百九十四 毒藥、劇藥ニハ一回及一日ノ使用量ニ制限アリ此等ノ最高限ヲ極量ト云フ

調劑者ハ毒劇藥ノ名稱ヲ記憶シ置クヲ要ス

第八百九十五 毒、劇藥ニシテ其ノ極量ヲ超エテ處方セラレアルトキハ處方箋（處方録）ノ餘白ニ特量ノ二字ト、軍醫ノ捺印アルニアラサレハ之ヲ調劑スルコトヲ得ス

第八百九十六 調劑室藥室等ニ於ケル藥ノ容器ハ藥ノ種類ニ從ヒテ藥瓶、藥壺又ハ

金屬罐ヲ使用ス例ヘハ液狀藥ニハ細口藥瓶ヲ、油類ニハ帽附藥瓶ヲ、固形藥ニハ

廣口藥瓶ヲ、軟膏類ニハ藥壺ヲ、生藥類ニハ金屬罐ヲ用ケルカ如シ

第八百九十七 藥ハ其ノ性状ニヨリ取扱上特別ノ注意ヲ要スルモノアリ（附表第九

參照）

一 爆發又ハ發火ノ虞アルモノ

容器ヲ密栓シテ細砂中ニ埋メ顛倒、墜落等ヲ嚴ニ豫防シ周圍ニ可燃性物質ヲ置クヘカラス（硫酸、鹽剝、過「マンガ」酸「カリウム」等）

二 引火シ易キモノ又ハ揮發シ易キモノ

容器ヲ密栓シテ冷所ニ貯ヘ、火氣又ハ發火シ易キ物質ト近接セシムヘカラス（「エーテル」、酒精、石油「ペンチン」等）

三 光線ニヨリ變化シ易キモノ

黑色或ハ黄褐色硝子瓶ニ入レ光ヲ遮リ貯フヘシ(「プロタルゴール」、硝酸銀、甘汞等)
四 濕氣ヲ引キ易キモノ

除濕器中ニ入ルルカ又ハ容器ヲ密栓スヘシ(「ヂヤスターゼ」、苛性カリ)
五 寒暑ノ爲メ變質シ或ハ凍結ノ爲メ容器破損ノ虞アルモノ

害室若ハ成ルヘク氣温ノ影響少ナキ場所ニ貯フヘシ(血清類、水溶液等)
格納中甲、乙兩種ノ藥物相互作用シテ變化ヲ來スコトアリ例ハ「ヨード」ト甘汞
ト接近貯藏スルトキハ「ヨード」蒸氣ノ爲甘汞變色スルカ如シ

第四章 調劑室ノ整頓及調劑ノ注意

第八百九十八 看護長ハ看護卒ヲ指揮シ調劑室ニ於ケル清潔、整頓ヲ圖ルモノトス
第八百九十九 室内ニ備付アル器具、器械類ハ一定ノ場所ニ整頓シ使用後ハ必ス原
位置ニ復スヘシ

第九百 調劑室ニアリテハ藥物ノ配列ハ毒藥、劇藥、通常藥ニ分チ更ニ固形藥、液
狀藥、膏藥等ニ區分シ各區分毎ニ藥局方ノ順位ニ配列スルヲ例トス

第九百一 調劑室ニハ極量表ヲ掲ケ置キ處方ニ毒、劇藥ノ記載アルトキハ必ス之ニ
照シテ其ノ分量ヲ調査スルモノトス(附表第四參照)

第九百二 調劑室ニハ急遽ノ使用ニ應センカ爲メ常時貯藏スヘキ藥物アリ是レヲ應
急常備藥ト云フ、應急常備藥ハ一見認識シ得ルカ如クナシ置クヘシ(附表第五參
照)

第九百三 調劑ハ忙シキトキモ、急ナルトキモ、常ニ心ヲ落附ケ誤リナキヤウ注意
スヘシ

第九百四 調劑ハ急ヲ要スルモノ又ハ特別ノ場合ノ他ハ處方箋、處方録受付ノ順序
ニ行フヘシ

第九百五 調劑者ハ先ツ處方ノ全部ヲ讀ミ十分會得シタル上調劑ニ著手スヘシ

第九百六 處方錄上前日ノ處方ニ㊦印アルハ處方ヲ改訂シタルナリ又前日ノ處方中一部又ハ全部ヲ用キル場合ニハ其ノ各劑ニ於ケル主藥ノ名稱ヲ用キテ前何劑ト略記セラルルコトアリ(處方錄記載例參照)

第九百七 處方ニ疑アルトキハ藥劑官又ハ軍醫ニ告ケ必ス其ノ指圖ヲ受クヘシ

第九百八 藥ヲ取扱フニハ必ス容器ノ名票ニ注意シ誤ナキヤヲ確ムヘシ

藥物容器ニ名票ヲ附セスシテ貯ヘ或ハ他ノ名票アル藥瓶ニ異リタル藥ヲ納ムルカ如キハ藥ヲ誤ラシムル原因ナリ又藥瓶、藥壺ノ名票ハ汚レ易シ、汚レタルモノハ貼リ替フヘシ

第九百九 一劑ノ調製終ル毎ニ必ス其ノ容器ニ名票ヲ附スヘシ、數劑ヲ調製シタル後之ヲ行フトキハ誤リ易シ

第九百十 調劑ヲ終リタルトキハ調劑者ハ再ヒ處方ノ全部ヲ讀ミ藥物其ノ他必要ノ箇條ニ就テ誤脱ナキヤ否ヤヲ檢シタル後、處方箋(錄)上所定ノ部位ニ捺印スヘシ

第九百十一 處方錄ハ容器ニ添ヘテ所定ノ場所ニ排列シ置キ受授ノ際ハ處方錄ト容器トニ就テ患者ノ姓名ヲ對照スヘシ

第五章 器械類ノ清淨及注意

第九百十二 普通ノ方法ニヨリ器械類ノ汚物ヲ除キ難キトキハ左ノ方法ニヨル

- 一 油脂類ノ附著セル硝子器及磁器ハ濃厚ナル「ナトロン」鹼汁ノ少量ヲ加ヘ暫時放置スルカ或ハ加熱シ次テ水洗スヘシ、本法ハ金屬器ニ應用スヘカラス
- 二 其ノ他ノ有機物ニテ汚染セル硝子器及磁器ハ粗製硫酸ノ適量ニ少量ノ重「クローム」酸「カリウム」ヲ混和シタル液ニテ洗フヘシ、此ノ液ハ綠色ニ變スルマテ數回反覆シテ使用スルコトヲ得、本法ハ金屬器ニ應用スヘカラス
- 三 「ヨード」又ハ「ヨード」丁幾ニテ汚染セルモノニハ次亞硫酸「ナトリウム」濃

厚液ニテ洗ヒ後、水洗スヘシ

四 硝酸銀ノ斑點ヲ除クニハ先ツ「ヨード」丁幾ヲ局部ニ塗布シ暫時放置セル後次亞硫酸「ナトリウム」液ニテ洗フヲ可トス

第六章 水劑

第九百十三 本章ニ掲クル水劑ハ内服ニ供スル藥液ヲ云ヒ通常一種若ハ二種以上ノ藥物ヲ水ニ溶解若ハ混和シテ製シタルモノナリ

第九百十四 水劑ニ用キル水ハ蒸留水ナルヲ要スト雖モ止ムヲ得サルトキハ澄明ナル湯冷シヲ用フヘシ

第九百十五 水劑ヲ製スルニハ處方箋(處方録)ニ示シタル藥ヲ量リ投藥瓶ニ入レ所要ノ水ヲ加ヘテ瓶ヲ栓塞シ輕ク振盪シテ十分ニ溶解若ハ混和セシメ明處ニ向ツテ透視シ若シ塵、栓屑等ノ異物アルトキハ濾シ除クヘシ

第九百十六 滴數ヲ用キル藥物ハ最初ニ之ヲ滴入シ次テ他ノ藥物ニ及フヘシ是レ過テ過量ヲ滴入シタルトキハ之ヲ棄テ容器ヲ洗ヒ作業ヲ反覆スル便アルヲ以テナリ

第九百十七 藥ハ其ノ性狀ニヨリ溶解度ヲ異ニス又其ノ溶解藥ノ温度高ケレハ溶解量多キヲ例トス(附表第六參照)

重碳酸「ナトリウム」ハ水ニ容易ニ溶ケサルモノナリ然レトモ之ヲ水ト共ニ加温シ又ハ劇シク振盪スルトキハ分解ヲ招ク故ニ重碳酸「ナトリウム」ハ豫メ細カナル粉末トナシ溶クルニ便ナラシムルヲ要ス

第九百十八 揮發性ノ藥ヲ水劑ニ混スルニハ之ヲ熱シ若ハ熱液中ニ加フヘカラス

第九百十九 稠厚「エキス」ノ水劑ヲ製スルニハ豫メ「バラフィン」紙上ニ秤量シタル「エキス」ヲ注意シテ乳棒ノ先端ニ附著セシメ少量ノ水ト共ニ乳鉢内ニ研和シツツ溶解シ尙紙上ニ殘レル部分ハ水ヲ滴下シテ全部溶出セシメタル後徐々ニ殘餘ノ水ヲ加ヘテ稀釋シ之ヲ投藥瓶中ニ漏斗及硝子棒ヲ介シテ移スヘシ此ノ際液ノ散逸ヲ

防クヘシ

第九百二十 固形藥ヲ水ニ溶カシタルモノハ多少濁リ或ハ塵埃ヲ混スルコトアルヲ以テ水劑ヲ調合スルニ方リテハ其ノ都度濾過ノ手數ヲ要ス之ヲ避クル爲メ常ニ頻用スル藥ハ濃度ノ一定セル水溶液トナシ且容量ヲ以テ秤量シ得ルカ如ク溶解シ置クヲ便ナリトス、之ヲ豫製劑ト云フ

豫製劑ハ永ク貯フルトキハ變質スルノ虞アルヲ以テ頻繁ニ使用セラルルモノニ限リ製スルヲ可トス

豫製劑ノ主ナルモノヲ示セハ左ノ如シ

一 五倍應用「ブロームカリウム」液

「ブロームカリウム」二百「グラム」ヲ秤取シ之ヲ一「リットル」ノ液量器ニ入レ約八百立方「センチメートル」ノ水ヲ加ヘテ溶カシ更ニ水ヲ加ヘテ全量一「リットル」トナシ濾シテ清澄トナシタルモノナリ

本液五立方「センチメートル」ヲ用キルトキハ二「グラム」ノ「ブロームカリウム」ニ相當ス

二 五倍應用「ヨードカリウム」液

三 二倍應用 「サリチール酸ナトリウム」液

四 二倍應用「硫酸マグネシウム」液

以上ハ其製法前例ニ準ス

第九百二十一 次硝酸蒼鉛、重酒石酸「カリウム」等ノ如キ不溶解性若ハ難溶性ノ藥ヲ加ヘテ製シタル水劑ヲ振盪合劑ト云フ、振盪合劑ハ服用ニ臨ミ振盪シテ用キルモノナリ之ヲ製スルニハ先ツ藥ヲ乳鉢ニ取り少量ノ水ヲ注キテ能ク研和シ然ル後之ヲ殘餘ノ液中ニ混スヘシ、直ニ液中ニ投シテ振盪スルトキハ多クハ塊トナリテ均等ニ混シ難シ

水劑實習處方例

1 「ブロームカリウム」

二〇〇

「ブロームナトリウム」

一〇〇

「ブロームアンモニウム」

一〇〇

苦味丁幾

二〇〇

水

一〇〇〇

右一日三回食後分服(與 日分)

2 硫酸「マグネシウム」

二〇〇〇

稀鹽酸

一〇〇

水

一〇〇〇

右一日三回食前分服(與 日分)

3 煨製「マグネシア」

五〇〇

水

一〇〇〇

「グリセリン」

五〇〇

右使用前振盪シ一食匙(約一五瓦)ツツ内服

第七章 飽和劑

第九百二十二 飽和劑ハ通常酸類ト炭酸鹽類トノ各當量ヲ作用セシメテ生シタル炭

酸瓦斯ヲ飽和セル水劑ナリ

第九百二十三 飽和劑ヲ製スルニハ「サイフォン」瓶若ハ厚壁硝子瓶ヲ使用ス厚壁硝

子瓶ヲ用キルトキハ其ノ中ニ炭酸鹽類ヲ投シ處方ノ水ノ約半量ヲ注キテ溶カシ次

ニ殘リノ水ニ溶カシタル酸液ヲ瓶口ヨリ靜ニ注キタル後良質ノ木栓ヲ用キテ密栓

シ麻絲ヲ以テ結フモノトス藥液ハ瓶ニ全滿スルコトナク常ニ若干ノ餘積ヲ殘シ置

クヘシ

賦形藥ハ通常蒸餾水ニシテ時トシテ芳香水、舍利 水等ヲ使用ス、他ノ藥物ヲ混

和スルニハ炭酸鹽及酸カ化合ヲ終リタル後ニ於テス
調製ノ際温熱ヲ用キ若ハ振盪攪拌シ又ハ濾過スヘカラス

「サイフオン」瓶ノ使用法ハ第八百四十三ニヨルヘシ

各炭酸鹽類十「グラム」ニ對スル各酸類ノ當量ハ概ネ左ノ如シ

炭酸鹽類

酒石酸量

枸橼酸量

重炭酸「ナトリウム」

九・〇

八・〇

炭酸「ナトリウム」

五・三

五・〇

炭酸水、平野水ノ類ハ飽和劑ニ屬ス

實習處方例

重炭酸「ナトリウム」

二・五

枸橼酸

二・〇

單舎利別

二〇・〇

水

八〇・〇

右一日數回分服(與 日分)

第八章 乳劑

第九百二十四 乳劑ハ油類ノ如キ水ト混シ難キ藥ヲ「アラビアゴム」末又ハ卵黃ノ媒

ニヨリ水ト親密ニ混和セシメタルモノナリ其ノ外觀乳狀ヲ呈ス

「アラビアゴム」ヲ用キル乳劑ノ製法ニ通例三アリ

- 一 油類ヲ「ゴム」末(油ノ半量)ト共ニ親密ニ研和シタル後、乳化ニ要スル水ノ全量(油ト「ゴム」末トノ和量ノ半量)ヲ一頓ニ注キ急ニ研和シテ乳化セシムルモノ

- 二 先ツ「ゴム」末(前ニ同シ)ヲ取り乳化ニ要スル水(前ニ同シ)ヲ加ヘテ善ク研和シタル後油類ヲ一頓ニ加ヘテ研和シ乳化セシムルモノ

三 油、乳化ニ要スル水「ゴム」末(前ニ同シ)ノ三者ヲ同時ニ混シ善ク研和シ乳
化セシムルモノ

第九百二十五 前製法ニヨリ乳化藥ヲ研和スルニ方リ一種^{ビチビチ}々々ノ音ヲ發スルハ乳化
成就ノ前徴ナルヲ以テ尙十分研和シ均等ノ泥狀ヲナスニ至リ徐々ニ水ヲ注キ研和
シツツ稀釋スヘシ

第九百二十六 「ゴム」末ニ代ヘテ卵黃ヲ用キル場合ニハ先ツ十分ニ乳鉢中ニテ之ヲ
摺リ徐々ニ油類ヲ加ヘテ善ク研和シ更ニ研和シツツ所要ノ水ヲ加ヘテ乳劑トナス
ヘシ但油類十「グラム」ニ付キ卵黃一箇ヲ用キルヲ適當トス

第九百二十七 乳劑中ニ他ノ藥物ヲ加フルトキハ調製操作中ニ爲スヘカラス必ス乳
劑トナリタル後ニ行フモノトス

第九百二十八 乳劑ハ靜置スルトキ漸次油類ヲ分離スルコトアルヲ以テ服用時振盪
スヘシ

實習處方例

肝油	二〇・〇
「アラビアゴム」	一〇・〇
薄荷水	二五・〇
單舍利別	二五・〇
水	適宜
右乳劑二〇〇・〇トナシ	
一日三回食後分服(與 日分)	

第九章 浸劑及煎劑

第九百二十九 浸劑及煎劑ハ生藥類ノ成分ヲ水若ハ酸性ノ水ニテ溶出セシメタルモ
ノナリ

生藥類ニシテ其ノ有効成分ヲ容易ニ溶出スヘキモノ若ハ揮發性ノ成分ヲ含ムモノハ浸劑トナシ、然ラサルモノハ煎劑トナス

第九百三十 浸劑ヲ製スルニハ細判セル藥ヲ浸煎劑器ニ入レ之ニ熱湯ヲ注キ屢々振盪シ五分間湯煎上ニ温浸シ冷後、水ニテ濕シタル「フラネル」布ヲ用キテ壓濾シ其ノ濾液ヲ取ルヘシ

煎劑ヲ製スルニハ細判セル藥ヲ浸煎劑器ニ入レ之ニ冷水ヲ注キ時々振盪シ三十分間湯煎上ニ熱シ温ニ乗シ「フラネル」布ヲ用ヒテ壓濾シ其ノ濾液ヲ取ルヘシ

浸劑煎劑ヲ濾スニハ濾布ヲ漏斗若ハ井字枠上ニ張り之ニ浸(煎)液ヲ注キ濾液ノ既ニ滴下セサルニ至リテ之ヲ搾リ更ニ殘渣ニ必要量ノ水ヲ灌キテ搾リ所定ノ液量ヲ得ルニ至ルヘシ

浸劑及煎劑ハ腐敗シ易キヲ以テ必要量以上ヲ製スヘカラス又「ヂギタリス」葉浸ノ如キハ漸次其ノ効力ヲ減スルコトアリ

第九百三十一 處方中「キナ」煎、「ゼネガ」浸ノ主藥ノ分量記載シアラサルトキハ陸軍藥局方ノ分量ニヨルヘシ

第九百三十二 煎劑中ニ他ノ藥物ヲ配スルニハ煎液ノ冷ヘタル後ニ混スヘシ

實習處方例

1 「ゼネガ」浸

一〇〇・〇

杏仁水

三・〇

單舍利別

一〇・〇

右一日三回食後分服(與 日分)

2 「キナ」煎(四・〇)

一〇〇・〇

稀鹽酸

一・〇

「ペフシン」

一・〇

單舍利別

一〇・〇

右一日三回分服(與 日分)

第十章 散劑

第九百三十三 散劑ヲ製スルニハ藥ヲ乾キタル乳鉢ニ取リ乳棒ニテ輪狀ニ輕ク搗リ時々乳鉢ノ内面及乳棒ニ附キタルモノハ匙ニテ掃ヒ落シ散失ヲ防キツツ全質均等トナルニ至ル迄研和スヘシ

處方中分量少キ藥ト、多キ藥トヲ混スルニハ先ツ分量ノ多キ藥ノ少許ヲ乳鉢ニ取リ之ニ分量少キ藥ヲ加ヘテ能ク研和シタル後殘リノ藥ヲ漸次ニ混和スヘシ

第九百三十四 散劑ニハ通常澱粉、白糖、乳糖ヲ配伍セラルルモノトス、之ヲ賦形藥ト云フ、處方上其ノ分量ヲ示サスシテ適宜ト記サレタルトキハ賦形藥ノ量ヲ概ネ一包〇・五「グラム」ノ散劑ヲ得ルニ適スル如ク定ムヘシ

第九百三十五 散劑ヲ分チ包ムニ方リ引濕性ノ藥物ニアリテハ不透水性藥包紙(ウ

キイスコイド紙)ヲ用キ光ニ觸レテ變質スヘキ藥物ニアリテハ赤色藥包紙ヲ使用スヘシ

第九百三十六 稠厚「エキス」ヲ散劑トナスニハ豫メ「パラフィン」紙上ニ秤量シタル「エキス」ヲ注意シテ乳棒ノ先端ニ附著セシメ少量ノ賦形藥ト共ニ乳鉢内ニ研和シタル後殘餘ノ賦形藥ヲ加ヘ散劑トナスヘシ、乳鉢及乳棒ハ使用ニ先チ温メ置クヘシ藥ノ性質ニヨリ濕潤性ヲ帶ヒテ粉末トナラサルトキハ乳鉢ヲ重湯煎上ニ載セテ乾カシ冷エタル後粉末トナスヘシ

第九百三十七 樟腦ヲ散劑トナスニハ之ヲ乳鉢中ニ取リ酒精ニテ濕シ研細シ後之ニ他ノ藥ヲ加ヘテ輕ク研和スヘシ強ク研和スルトキハ樟腦ハ乳棒及乳鉢ニ著キテ粉末トナシ難シ

第九百三十八 丁幾又ハ揮發油等ヲ散劑中ニ混和スルニハ散劑ノ一部ヲ乳鉢ニ入レ之ニ豫メ秤量シタル丁幾又ハ揮發油ヲ滴下シ十分ニ研和シタル後殘餘ノ散劑ヲ

混スヘシ

第九百三十九 少量ニ用キル劇毒藥、「エキス」類ニシテ頻用セラルルモノハ之ニ澱粉、乳糖若ハ甘草末ノ類ヲ加ヘテ其ノ量ヲ増加シ名票ニ「何倍應用」ト記シ貯フルヲ便トスルコトアリ

百倍應用鹽酸「ヘロイン」散、十倍應用莨菪「エキス」散、十倍應用「ホミカエキス」散等ノ如シ

實習處方例

1 重炭重「ナトリウム」

二・〇

「ホミカエキス」

〇・〇三

龍胆末

〇・五

2 樟腦

右散劑ト爲シ一日三回食前分服(與 日分)

〇・五

乳糖

一・五

右散劑ト爲シ一日三回食後分服(與 日分)

第十一章 撒布劑

第九百四十 撒布劑ハ通常皮膚、眼、創面等ニ撒布シ若ハ耳鼻咽喉ニ吹キ入ルル粉末藥ナリ

第九百四十一 撒布劑ノ製法ハ概ネ散劑ト異ルコトナシト雖モ撒布劑ニアリテハ藥物ヲ成ルヘク細末トシ機械的刺戟ナカラシムヘシ殊ニ眼科用ニ於テ然リトス

實習處方例

1 酸化亞鉛

五〇・〇

澱粉

五〇・〇

右撒布劑トナシ與フ

2 「サリチール」酸

三・〇

滑石

九七・〇

右撒布劑トナシ與フ

第十一章 丸劑

第九百四十二 丸劑ハ藥ノ容積ヲ小ニシテ一頓ニ嚙マシメ或ハ不快ノ臭味アル藥ヲ服用シ易カラシムルタメ小球圓形ニ調製セルモノナリ

丸劑ノ大サハ通常一丸ノ重量約〇・一「グラム」ニシテ不同ナク、硬軟ニ失セス、粘著セス、外面滑カニシテ藥物ノ含量均一ナルヲ要ス

第九百四十三 丸劑ヲ製スルニハ散劑ヲ調製スルト同シク藥物ヲ澱粉又ハ甘草末等ト乳鉢内ニテ親密ニ研和シ之ニ甘草「エキス」、水、「グリセリン」、單舍利別、稀酒精等ノ一種若ハ數種ヲ加ヘ捏合セテ恰適ノ稠度ヲ得ルニ至リ展延板ヲ用キテ

細キ圓柱トナシ截丸器ニテ所要ノ粒數ニ分チ之ヲ成丸器ニ移シ丸衣ヲ撒布シツツ回轉シテ球圓形ヲナサシム

第九百四十四 丸衣ハ丸子互ニ粘著スルヲ防キ兼ネテ不快ノ臭味ヲ掩フ用ニ供ス引濕性ナラサル粉末例ハ石松子、甘草末、桂皮末、澱粉等ヲ選フヘシ

第九百四十五 有機質ニ觸レ分解スル藥物例ハ硝酸銀、「サリチール」酸汞等ノ丸劑ヲ製スルニハ金屬器具ヲ使用スヘカラス、又其ノ賦形藥及丸衣ニハ植物末等ヲ避ケ白陶土等ヲ使用スヘシ

第九百四十六 丸劑ハ室温(攝氏十五度—二十度)ヲ有スル水中ニ投入シ屢々振盪スルニ二三十分時間以内ニ軟解スルヲ要ス、古クシテ硬固トナレル丸劑ハ使用ニ適セス
第九百四十七 丸劑ハ形狀ヲ損セサラシムルタメ曲物ニ入レテ與フルヲ可トス

實習處方例

1 鹽酸「キニーネ」

一・〇

澱粉

適量

右單舍利別ヲ以テ二十九トナシ與フ朝夕五丸宛服用

2 硝酸銀

〇・三

白陶土

三・〇

右適量ノ「グリセリン」水ヲ以テ三十九トナシ白陶土ヲ衣トシ與フ一日
三回一丸宛食前服用

第十三章 錠劑

第九百四十八

錠劑ハ藥ヲ壓搾シテ小圓板形トナシ每錠中一定ノ藥量ヲ含マシメタルモノナリ故ニ錠劑ハ藥ヲ量ル煩ヲ省クノミナラス貯藏、携帶及服用ニ便ナリ

第九百四十九

錠劑ニハ單味ノモノアリ又賦形藥ヲ加ヘタルモノアリ、賦形藥ニハ澱粉、乳糖、滑石等ヲ使用ス

錠劑ハ其ノ數箇ヲ聯ネ藥包紙(「ウイスコイド」紙)ニ包ミ患者ニ與フヘシ

第十四章 注射劑

第九百五十

注射劑ハ一種若ハ數種ノ藥ヲ液體ニ溶解若ハ混和シ又ハ粉末ノ儘無菌性ニ調製シタルモノナリ、皮下注射、靜脈内注射、筋肉内注射等ニ用キラル

注射劑ヲ調製スルニハ概ネ水劑ト同シ方法ニヨル又之ヲ無菌性ナラシムルニハ最も注意ヲ要ス例ヘハ容器ハ勿論漏斗、濾紙等ニ至ルマテ十分滅菌シ殊ニ蒸餾水ハ新シキモノヲ滅菌シテ用キルカ如シ

注射劑ノ滅菌方法ハ藥物ノ種類ニヨリ異ナルヲ以テ藥劑官(軍醫)ノ指圖ヲ受クヘシ

注射劑ヲ調製シタルトキハ其ノ製造年月日ヲ容器ニ票記シ置クヘシ

注射劑ニハ融閉硝子管ニ入レ滅菌シタルモノアリ

實習處方例

1 昇 汞

〇・一

水

一〇〇・〇

右注射料

2 「サリチール」酸汞

一・〇

硫動「バラフィン」

一〇〇・〇

右注射料

第十五章 點眼劑

第九百五十一 點眼劑ニ難溶性ノ藥ヲ配スルトキハ其ノ藥ヲ微細ナル粉末トナシ研和シツツ之ニ蒸留水ヲ徐々ニ滴加シ溶解セシムヘシ決シテ熱ヲ與ヘテ溶カスヘカラス熱ヲ與ヘテ溶カシタルモノハ冷後結晶ヲ析出スル虞アレハナリ

第九百五十二 點眼劑ヲ製スル方法ハ概ネ水劑ニ同シ、之ニ用キル乳鉢、液量器、

匙、點眼瓶等ハ豫メ蒸留水ヲ以テ淨メ塵ヲ避ケ乾カシタルモノナルヲ要ス

第九百五十三 點眼劑ハ清澄ナルヲ要ス若シ清澄ナラサルトキハ蒸留水ニテ洗ヒタル濾紙ヲ以テ濾シ與フヘシ

點眼劑ヲ調製シタルトキハ其ノ製造年月日ヲ容器ニ票記シ置クヘシ

實習處方例

硫酸銅

〇・一

蒸留水

一〇〇・〇

右點眼用

第十六章 灌腸劑

第九百五十四 灌腸劑ニハ瀉下灌腸劑、滋養灌腸劑等アリ何レモ用ニ臨ミテ調製

ス

瀉下灌腸劑ニハ常用灌腸劑、刺戟灌腸劑ノ別アリ

一 常用灌腸劑一劑ハ藥用石鹼八「グラム」ヲ温湯四百「グラム」ニ溶カシタルモノナリ

二 刺戟灌腸劑一劑ハ重炭酸「ナトリウム」〇・五「グラム」、藥用石鹼六「グラム」ヲ取り混和シ之ニ蓖麻子油二十「グラム」、「テレピン」油十五「グラム」ヨリ成レル混和物ヲ滴下シ親密ニ研和シタル後水三百六十五「グラム」ヲ徐々注加シタルモノナリ

滋養灌腸劑一劑ハ牛乳二百「グラム」、卵黄二箇ヲ取り研和シ之ニ酒精二十「グラム」、「クロールナトリウム」五「グラム」、葡萄糖五「グラム」ヲ加ヘ攪拌シタルモノナリ

第十七章 含嗽劑、吸入劑及罌法劑

第九百五十五 含嗽劑、吸入劑及罌法劑ノ調製法ハ概ネ水劑ニ同シ

實習處方例

1 二%硼酸水 三〇〇・〇

薄荷水 一五・〇

右一日數回含嗽料(與 日分)

2 「クロールナトリウム」 三・〇

重炭酸「ナトリウム」 三・〇

水 三〇〇・〇

右一日三回吸入料(與 日分)

3 鉛 糖 三・〇

水 三〇〇・〇

右罌法料

第十八章 膠囊劑

第九百五十六 膠囊劑ハ不快ノ臭味アル藥ヲ膠囊ニ入レ服用シ易カラシムルモノナリ

第九百五十七 膠囊劑ヲ製スルニハ左ノ方法ニヨル

一 固形藥ハ散劑ニ於ケル如ク乳鉢ニテ研和シ之ヲ處方ニ示ス分量ニ分チ適當ノ大サヲ有スル膠囊ニ入レ其ノ蓋ノ内面ハ弱キ「ゴム」糊若ハ温湯ニテ少シク濕シテ蓋フヘシ

二 油狀藥ハ處方ニ示ス分量ヲ直ニ膠囊ニ入ルヘシ然レトモ漏出シ易キ藥ニアリテハ甘草末ニ吸收セシメテ入ルルヲ可トス
膠囊劑ハ曲物ニ入レテ與フルヲ可トス
實習處方例

1 「チモール」

二・〇

「ナフタリン」

一・〇

右膠囊六箇ニ入レ頓服(與 回分)

2 白檀油

一・五

右膠囊三箇ニ入レ與フ一日三回食後分服(與日分)

第十九章 硬膏劑

第九百五十八 硬膏劑トハ皮膚ニ貼付スル藥劑ヲ云フ、過常常温ニ於テハ固塊ヲナシ體温ニ逢ヘハ軟化シテ粘著性ヲ現ハス特性ヲ有ス、其ノ基礎藥ハ蠟類、彈性「ゴム」、樹脂類、脂肪、單鉛硬膏等ナリ

硬膏劑ニハ棒狀(樹脂硬膏等)或ハ布片ニ展シタルモノ(「ピック」膏、「ゴム」絆創膏、「スピール」膏等)アリ

第九百五十九 硬膏劑ヲ製スルニハ特ニ製法ヲ示ササルモノハ先ツ難溶性ノ物質ヲ融カシ次ニ易溶性ノ物質ヲ混和シ半ハ冷エタル熔塊ニ藥物ヲ親密ニ混シ全質均等ノ塊トナスヘシ

第九百六十 硬膏劑ヲ布片ニ塗ルニハ豫メ之ヲ湯煎上ニテ融カシ稍々冷ヘテ適當ノ稠度トナルニ至リ篋ニ取り均等ニ布ニ展スヘシ
處方中布ニ塗布スヘキ硬膏ノ分量ノ記載ナキトキハ之カ厚サヲ概ネ一「ミリメートル」トナスヘシ

第二十章 軟膏劑

第九百六十一 軟膏劑ハ外用ニ供スヘキ藥劑ニシテ室温ニ於テハ常ニ牛酪様ノ稠度ヲ有シ温ムレハ融解ス、基礎藥ニハ通常脂肪、黃蠟、胡麻油、「ワセリン」、「ラノリン」及「パラフィン」等ヲ使用ス

軟膏ノ一層軟キモノヲ泥膏(「バスタ」)ト云フ

第九百六十二 軟膏劑ヲ製スルニハ左ノ方法ニヨル

- 一 固形藥ヲ配伍スル軟膏ヲ製スルニハ固形藥ヲ乳鉢ニ入レ細末トナシ胡麻油或ハ「オレーフ」油ノ少量ヲ加ヘテ研和シ次ニ基礎藥ヲ加ヘテ十分ニ捏リ合ハスヘシ但少量ノ場合ニアリテハ膏藥板ヲ用キテ捏リ合スモノトス
- 二 水ニ溶解シ易キ藥物及「エキス」類ヲ配伍スル軟膏ヲ製スルニハ之ニ成ルヘク少量ノ水或ハ稀酒精ヲ滴加シテ研和シタル後前法ノ如ク製スヘシ
- 三 前各方法ニヨル必要ナキモノハ處方ニ示ス藥物ト基礎藥トヲ直ニ捏リ合ハスヘシ

第九百六十三 軟膏劑ハ通常曲物又ハ蛤貝ニ入レテ與フ、木製ノ曲物ヲ用キル場合ニハ豫メ其ノ内部ニ「パラフィン」紙ヲ敷キ直接軟膏劑ノ曲物ニ觸ルルヲ防クヘシ

第九百六十四 軟膏劑ヲ調製スルニ方リ金屬鹽類、酸類、鞣酸、沒食子酸等ヲ軟膏中ニ混スル場合ニハ角製筥ヲ使用ス

第九百六十五 軟膏劑ハ全質均等ニシテ敗油臭ヲ有スヘカラス又分解ノ虞アルモノハ用ニ臨ミテ調製スヘシ調製後自然凝固セルモノ若ハ成分ノ析出セルモノハ用ニ臨ミテ研和スヘシ殊ニ眼科用ニ於テ然リトス

實習處方例

- 1 「ヨード」 〇・一
- 「ヨードカリウム」 一・〇
- 單軟膏 一〇・〇
- 右研和シ軟膏トナシ與フ
- 2 黃降汞 〇・五
- 白色「ワセリン」 二〇・〇

右研和シ眼軟膏トナシ與フ

第二十一章 坐藥

第九百六十六 坐藥ハ肛門又ハ尿道ニ挿シ込ム藥ニシテ肛門ニ用キルモノハ略圓錐形ヲナシ、尿道ニ用キルモノハ細桿狀ヲナス共ニ常溫ニ於テハ固體ヲナスモ體溫ニテハ漸次ニ融ク

肛門坐藥ハ通常長サ二・五乃至四「センチメートル」、重量一乃至三「グラム」ヲ有シ尿道坐藥ハ概ネ直徑四乃至五「ミリメートル」、長サ四乃至五「センチメートル」、重量〇・五「グラム」ヲ有ス

第九百六十七 坐藥ヲ製スルニハ通常先ツ主藥ヲ乳鉢ニ入レ研碎シ次テ「カカオ」脂ヲ混シテ全質均等ノ塊トナシ坐藥型ヲ用キテ所定ノ形狀トナシ製スヘシ
小數ノ坐藥ヲ製スルニハ坐藥塊ヲ所定ノ量ニ分チ豫メ「グリセリン」ヲ塗リタル

「パラフィン」紙ヲ用キテ適宜ノ形狀ヲナサシメ更ニ箔ニテ表面ヲ滑カナラシムヘシ

第九百六十八 坐藥ノ賦形藥ニハ通例「カカオ」脂ヲ用キルモ主藥ノ種類及氣候ノ關係ニ從ヒ更ニ少量ノ黃蠟若ハ「オレーフ」油、胡麻油ヲ和シテ適當ノ稠度トナスコトアリ

第九百六十九 坐藥ハ其ノ形狀ヲ損セサラシムルカタメ「パラフィン」紙ニ包ミ曲物等ニ入レテ與フヘシ

實習處方例

1 阿片末

〇・〇五

「カカオ」脂

二・五

右坐藥トナシ五箇ヲ與フ用法口授

2 莨菪「エキス」

〇・二五

「カカオ」脂

適量

右坐藥十箇トナシ與フ用法口授

第二十二章 配合禁忌及配合危險

第九百七十 各種ノ藥ヲ配合スルニ方リ其ノ効力ヲ失ヒ或ハ毒物ニ變スルコトアリ之ヲ配合禁忌ト謂フ(附表第七參照)

第九百七十一 藥物配合ノ際變色、沸騰或ハ沈澱等ヲ生スルハ既ニ變化ノ徴ナルヲ以テ直ニ藥劑官(軍醫)ノ指圖ヲ受クヘシ

第九百七十二 藥物中ニハ甲、乙混和ノ際若ハ混和後自ラ爆發シ又ハ發火スルモノアリ之ヲ配合危險ト謂フ(附表第八參照)

第二十三章 用語

溶解、溶液

第九百七十三 或ル藥物ヲ他ノ液體藥物ニ混スルトキ其ノ形消エテ目ニ視エサルニ至ル之ヲ溶解ト云ヒ其ノ溶ケタル液ヲ溶液ト云フ

飽和溶液

第九百七十四 一定ノ温度ニテ固體ノ液體ニ溶ケテ最早溶ケサル極度ニ達シタル溶液ヲ其ノ温度ニ於ケル飽和溶液ト云フ

沈澱

第九百七十五 二種ノ藥物ノ溶液ヲ混スルトキ不溶解性ノ物質ヲ析出スルヲ沈澱ト云フ

融解(熔融)

第九百七十六 固體ニ熱ヲ與フレハ變シテ液體トナルモノアリ之ヲ融解(熔融)ト云ヒ其ノ温度ヲ融解點(熔融點)ト云フ各物質ニハ各固有ノ融解點アリ

沸騰

第九百七十七 液體ヲ熱スルトキハ温度ノ昇ルニ從ヒ沸キ立ツニ至ル之ヲ沸騰ト云ヒ其ノトキノ温度ヲ沸騰點ト云フ各物質ニハ各固有ノ沸騰點アリ

熱湯、温湯

第九百七十八 熱湯トハ沸騰温度、温湯トハ三十五乃至四十五度ノ温ヲ有スル水ヲ云フ

蒸餾

第九百七十九 液體ヲ熱スレハ蒸發シ其ノ蒸氣ヲ冷ヤストキハ濃縮シテ再ヒ液體トナル之ヲ蒸餾ト云フ

昇華

第九百八十 揮發性ノ固體ニ熱ヲ與フレハ氣狀ニ變ス之ヲ冷ヤストキハ凝固シテ再ヒ固體トナル之ヲ昇華ト云フ、昇華ハ固體ノ蒸餾ナリ

蒸發、揮發

第九百八十一 液體ヲ熱スルトキハ氣狀ニナリテ散ス之ヲ蒸發ト云フ又液體及固體ノ常溫ニテ自ラ散スルヲ揮發ト云フ

結 晶

第九百八十二 固形體ニハ結晶形ト無晶形トノ二種アリ、結晶形ハ面、稜、尖ノ三部ヲ具フ線ニ圍繞セラレタルモノヲ面ト云フ、面相合シテ外圍ヲ形クル二面ノ會同スル線ヲ稜ト云フ、三面以上互ニ傾キ逢フ點ヲ尖ト云フ、結晶形ニハ種々アリ

結晶水、風化及潮解

第九百八十三 結晶性ノ物質中一定量ノ水ヲ抱有スルニアラサレハ結晶セサルモノアリ其ノ水ヲ結晶水ト云フ、此ノ如キ結晶ヲ空氣中ニ置クトキ漸次ニ結晶水ヲ失ヒ遂ニ白キ粉ニ變スルモノアリ之ヲ風化ト云フ、又空氣中ヨリ漸次ニ水分ヲ吸收シテ自ラ溶クレモノアリ之ヲ潮解ト云フ

比 重

第九百八十四 比重トハ物體ノ重量ヲ之ト同容積ナル攝氏四度蒸餾水ノ重量ニテ除シタル比ヲ云フ陸軍藥局方ニ記載シアル比重ハ通常攝氏十五度ニテ測定セシモノナリ液體ノ比重ヲ測ルニハ通常比重計ヲ用キルモノトス

濾 過

第九百八十五 濾過トハ液體中ニ混在セル不溶解物ヲ布若ハ濾紙ヲ用キテ別ツヲ云フ

判 截 及 粉 末

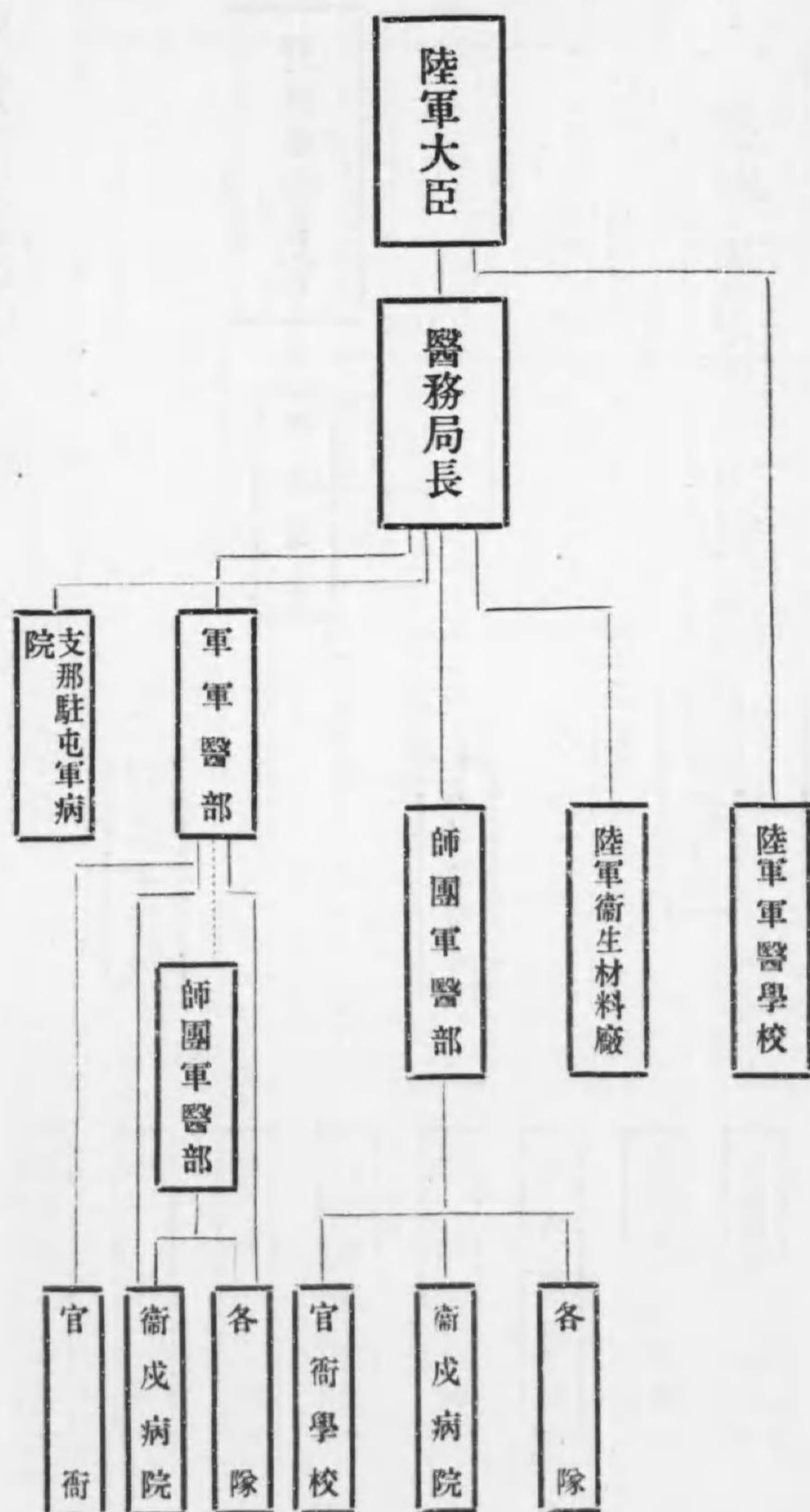
第九百八十六 生藥ノ判截及粉末ハ篩ノ眼ニヨリテ分ツ篩ハ左ノ六種トス
第一號篩 粗判截 內徑四「ミリメートル」ノ篩眼ヲ有スルモノ
第二號篩 中判截 內徑三「ミリメートル」ノ篩眼ヲ有スルモノ

第三號篩 細 對截 內徑二「ミリメートル」ノ篩眼ヲ有スルモノ
 第四號篩 粗 末 內徑約〇・七五「ミリメートル」ノ篩眼ヲ有スルモノ
 第五號篩 中 末 內徑約〇・三「ミリメートル」ノ篩眼ヲ有スルモノ
 第六號篩 細 末 內徑約〇・一五「ミリメートル」ノ篩眼ヲ有スルモノ

附表第一

備考……アル業務ニ關シ區署ヲ受クルコトヲ示ス

平時衛生機關組織一覽表



附表第三 度量衡比較表

計		量		單位略字		曲		尺		記載例	
一	ミリメートル	mm	又ハ	耗		〇〇〇 ^尺		〇〇〇 ^米		一〇〇〇	
一	センチメートル	cm	又ハ	厘		〇〇〇 ^三		〇〇〇		一〇〇	
一	デシメートル	dm	又ハ			〇〇〇 ^三		〇〇		一〇	
一	メートル	m	又ハ	米		三三〇〇		一〇		一〇	
一	キロメートル	km	又ハ	杆		三三〇〇〇〇		一〇〇〇〇		一〇〇〇〇	
計	量	量	單位略字	榊	量	記載例					
一	立方センチメートル (一ミリリットル)	cc (ml 又ハ 兎)			〇〇〇 ^合	一〇					

十	立方センチメートル				〇〇五五		一〇			
百	立方センチメートル (一デシリットル)	(dl 又ハ 鈞)		〇五五四		一〇〇〇				
千	立方センチメートル (一リットル)	(l 又ハ 立)		五五四三		一〇〇〇〇				
十	萬立方センチメートル (一ヘクトリットル)	(hl 又ハ 碩)		五五四三		一〇〇〇〇〇				
百	萬立方センチメートル (一キロリットル)	(kl 又ハ 杆)		五五四三		一〇〇〇〇〇〇				
計	衡	量	單位略字	秤	量	記載例				
一	ミリグラム	mg 又ハ 珣		〇〇〇〇 ^分 二六		〇〇〇 ^瓦				
一	グラム	g 又ハ 瓦		〇二六六七		一〇				
一	キログラム	kg 又ハ 斤		二六六・六六七		一〇〇〇〇				
一	トン	t 又ハ 吨		二六六・六六七〇		一〇〇〇〇〇〇				

慣習上、四百五十瓦ヲ「ポンド」、二十五瓦又ハ二十八瓦ヲ「オンス」ト呼フコトアリ

附表第四 極量表

藥物ノ名稱		略名(別名)	極量
		一回(瓦)	一日(瓦)
亞砒酸	ヂエチール、バルビツール酸	ウエロナール	〇〇五
鹽酸	エチールモルヒネ	ヂオニン	〇〇三
アガリチン			〇〇一
鹽酸	アポモルヒネ		〇〇二
杏仁水			二〇〇
ブルヌス水			二〇〇
硝酸銀			〇〇三
硫酸	アトロピン		〇〇一

修酸	セリウム	セリウム	〇〇三	一〇〇
抱水	クロラール	クロラール	二〇〇	六〇〇
クロロフォルム			〇〇五	三〇〇
鹽酸	コカイン	コカイン	〇〇五	〇二五
磷酸	コデイン	コデイン	〇〇一	〇〇三
コフェイン			〇〇五	一〇五
サリチール酸ナトリウムコフェイン	撒曹コフェイン		一〇〇	三〇〇
硫酸	膽礬		一〇〇	
鹽酸	ヂアセナールモルヒネ	ヘロイン	〇〇五	〇〇一五
ヂエチール、ヂスルフォン、ヂメチールメタン		スルフォナール	二〇〇	四〇〇
ヂエチール、ヂスルフォン、メチール、エチール、メタン		トリオナール	二〇〇	四〇〇
綿馬	エキス		八〇〇	八〇〇

阿片	吐根	散	ドーフル散	一〇	四〇
サリチール、アミノフェニール、ヂメチール、ピラツォロン	ヂメチール、アミノフェニール、ヂメチール、ピラツォロン	ピラミドン	ピラミドン	〇・五	一・五
フェニール、ヂメチール、ピラツォロン	フェニール、ヂメチール、ピラツォロン	アンチピリン	アンチピリン	一〇	三〇
サリチール酸フェニール、ヂメチール、ピラツォロン	サリチール酸フェニール、ヂメチール、ピラツォロン	サリピリン	サリピリン	一〇	四〇
ヤラツ	ヤラツ	脂		〇・五	一・五
サニトニ	サニトニ	ン		〇・一	〇・三
プロム水素酸	プロム水素酸	スコポラミン	スコポラミン	〇・〇一	〇・〇三
麥角	麥角			一〇	五〇
硫酸スバルテイン	硫酸スバルテイン	スバルテイン	スバルテイン	〇・一	〇・三
吐酒石	吐酒石			〇・一	〇・三
硝酸ストリキニーネ	硝酸ストリキニーネ	ストリキニーネ	ストリキニーネ	〇・〇五	〇・一五
サリチール酸ナトリウムテオブロミン	サリチール酸ナトリウムテオブロミン	ヂウレチン	ヂウレチン	一〇	六〇

アコニツト	アコニツト	丁	幾	アコニツト	丁	〇・五	一・五
ホミカ	ホミカ	丁	幾	ホミカ	丁	一〇	二〇
阿片	阿片	丁	幾	阿片	丁	一・五	五〇
ストロファンツ	ストロファンツ	ス	ト	ストロ	ト	〇・五	一・五
鹽酸トロボコカイン	鹽酸トロボコカイン	ト	ロボコカイン	ト	ロボコカイン	〇・二	
硫酸	硫酸	亞鉛	皓礬			一〇	

附表第五 應急常備藥名表

稀	醋	酸	枸	櫛	酸	タ	ン	ニ	ン	酸																																							
麻	醉	用	エ	ー	テ	ル	亞	硝	酸	ア	ミ	ー	ル	砒	石	解	毒	劑																															
鹽	酸	ア	ポ	モ	ル	ヒ	ネ	石	灰	水	蒸	餹	水	抱	水	ク	ロ	ラ	ー	ル																													
硫	酸	ア	ト	ロ	ピ	ン	鹽	酸	キ	ニ	ー	ネ	抱	水	ク	ロ	ラ	ー	ル	チ	ギ	タ	ミ	ン	(ヂ	カ	ー	レ	ン)																		
麻	醉	用	ク	ロ	フ	オ	ル	ム	鹽	酸	コ	カ	イ	ン	ヂ	ギ	タ	ミ	ン	(ヂ	カ	ー	レ	ン)	麥	角	流	動	エ	キ	ス	(エ	ル	ゴ	チ	ン	液)								
ゴ	ム	絆	創	膏	阿	片	エ	キ	ス	麥	角	流	動	エ	キ	ス	(エ	ル	ゴ	チ	ン	液)	ア	ラ	ビ	ア	ゴ	ム	(澱	粉)	甘	汞													
ア	ム	モ	ニ	ア	水	滅	菌	樟	腦	液	ク	レ	ゾ	ー	ル	石	鹼	液	ア	ム	モ	ニ	ア	水	滅	菌	グ	ラ	チ	ン	液	過	酸	化	水	素	液	滅	菌	鹽	酸	モ	ル	ヒ	ネ	液			
滅	菌	グ	ラ	チ	ン	液	過	酸	化	水	素	液	滅	菌	鹽	酸	モ	ル	ヒ	ネ	液	生	理	的	ク	ロ	ー	ル	ナ	ト	リ	ウ	ム	液	硫	酸	マ	グ	ネ	シ	ウ	ム	煨	製	マ	グ	ネ	シ	ヤ

重	炭	酸	ナ	ト	リ	ウ	ム	落	花	生	油	(山	茶	油)	蓖	麻	子	油																														
精	製	テ	レ	ピ	ン	油	鹽	酸	ピ	ロ	カ	ル	ピ	ン	ア	ン	チ	ピ	リ	ン																														
藥	用	石	鹼	芥	子	末	ヂ	フ	テ	リ	ア	血	清	ヨ	ー	ド	丁	幾	(五	ヨ	ー	ド	カ	リ	ウ	ム	液)																					
破	傷	風	血	清	酒	精	ヨ	ー	ド	丁	幾	(五	ヨ	ー	ド	カ	リ	ウ	ム	液																													
鹽	酸	ト	ロ	バ	コ	カ	イ	ン	メ	ン	タ	酒	考	備	一	本	表	中	括	弧	内	ハ	代	用	藥	ヲ	示	ス	二	本	表	藥	物	中	錠	劑	アル	モ	ノ	ハ	之	ヲ	使	用	ス	ル	コ	ト	ヲ	得

附表第六 藥物溶解一覽表

名	稱	溶解		藥
		水	酒	
アセチルサリチル酸(アスピリン)(結晶性)	酸	易	易	溶
亞砒	酸	不	不	溶
硼	酸	易	易	溶
樟腦	酸	易	易	溶
石炭	酸	易	易	溶
枸橼	酸	易	易	溶
ヂエチールバルビツール酸(ウエロナール)	酸	易	易	溶
鹽	酸	易	易	溶

乳	酸	易	易	溶
サリチル	酸	易	易	溶
硫	酸	易	易	溶
タンニン	酸	易	易	溶
酒石	酸	易	易	溶
トリクロール	酸	易	易	溶
エーテル	不	易	易	溶
鹽酸エチールモルヒネ(ヂオニン)	不	易	易	溶
アガリチン	難	難	難	溶
タンニン酸アルブミン(タンナルビン)	難	難	難	溶
明礬	不	不	不	溶
プロムアムモニウム	不	不	不	溶

クロールアムモニウム(礬砂)	易	一:三	一:五〇
スルfoisヒチオール酸アムモニウム(イヒチオール)	易	溶	溶
亞硝酸アミール	難	溶	溶
鹽酸アポモルヒネ(アポモルヒネ)		一:四〇	可
可溶性銀(コラルゴール)		一:二〇	一:五〇〇
硝酸銀		一:〇・六	一:一〇
プロテイン銀(プロタルゴール)	可	溶(徐々ニ分解ス)	
硫酸アトロピン(アトロピン)		一:一	一:三
鹽酸阿片鹽基(パントポン)	易	溶	
硝酸ベンツオイルテトラメチルアミノアエチルイソプロピルアルコホル(アリピン)	易	溶	溶
ベタナフトール(ナフトール)		一:一〇〇〇	易
次硝酸蒼鉛(硝酸蒼)	不	溶	不

次サリチール酸蒼鉛(撒蒼鉛)	不	溶	不
礬砂		一:二五	不
クロールカルチウム	易	溶	可
次亞磷酸カルチウム		一:八	不
樟腦(カムフル)	不	溶	溶
プロロム樟腦	不	溶	溶
樟酸セリウム(セリウム)	不	溶	不
エチール炭酸キユーネ(オイヒニン)	難	溶	易
鹽酸キニーネ(鹽規)		一:三四	一:三
タンニン酸キユーネ	難	溶	可
抱水クロラール(クロラール)	易	溶(徐々ニ分解ス)	易
クロロフォルム	不	溶	易

無水メチレン枸橼酸ヘキサメチレンテトラミン(ヘルミトール)	一：一三	不	溶
プロロム水素酸ホマトロピン(ホマトロピン)	溶	難	溶
昇	一：一六		一：一三
昇汞クロールカリウム(昇汞鹽)	溶	一部分溶解ス	
甘	不	不	溶
チ	一：一三		一：一二
酸化チアン汞	一：一七		
黄色酸化汞(黄降汞)	溶	不	溶
赤色酸化汞(赤降汞)	溶	不	溶
白降汞	溶	不	溶
サリチール酸汞(撒汞)	溶	不	溶
溶製サリチール酸汞(アズロール)	可	不	溶

ヨードフォルム	不	溶	一：八〇
ヨ	一：四、五〇〇		一：九
苛性カリ	易	易	溶
醋酸カリウム(醋剝)	易	易	溶
重炭酸カリウム	一：四	不	溶
重酒石酸カリウム(クレモル)	一：二〇〇	不	溶
ブーロムカリウム(臭剝)	一：二		一：二〇〇
クロールカリウム	一：三	不	溶
クロール酸カリウム(鹽剝)	一：一六		
重クロールム酸カリウム	一：一〇		
ヨードカリウム(沃剝)	一：〇・八		一：一二
硝酸カリウム(硝石)	一：四	不	溶

過マンガン酸カリウム	・二：一六分	解	ス
硫酸カリウム	一：一〇	不	溶
クレオソール	溶	可	溶
炭酸クレオソール	溶	可	溶
アムモニア水	溶	易	溶
クレゾール	溶	易	溶
石鹼液	溶	易	溶
フオルムアルデヒート液(フオルマリン)	溶	易	溶
濃過酸化水素液(ペルヒドロール)	溶		溶
五ヨードカリウム液	溶	易	溶
炭酸リチウム	一：八〇	不	溶
煨製マグネシア(マグネシア)	溶	不	溶
硫酸マグネシウム(硫麻)	一：一	不	溶

マンニト	一：六・五	難	溶
薄荷腦(メントール)	溶	易	溶
メチレンブラウ	溶	可	溶
鹽酸モルヒネ(モヒ)	一：二五		一：五〇
ナフタリン	溶	易	溶
サリチール酸ナトリウムチオジナミン、ファイアロリジン)	易	溶	溶
醋酸ナトリウム	一：一		一：二三
安息香酸ナトリウム	一：二		一：五〇
重炭酸ナトリウム(重曹)	一：一四	不	溶
ブロームナトリウム(臭曹)	一：一・二		一：一〇
炭酸ナトリウム	一：一・六	不	溶
クロールナトリウム(食鹽)	一：二・七	不	溶

藥物溶解一覽表

カルトチオキシフェニールエタノールメチーラ ミン(アドレナリン)	流動パラフィン	固形パラフィン(ツエレジン)	鹽酸パラミノペンツウイルヂエチールアミノエ タノール(ノウォカイン)	ペ ブ シ ン	過 酸 化 礬 砂	フ エ ノ ル フ タ レ イ ン	タンニン酸フェニールヂヒドロヒナツオリン (オレキシ)	サリチール酸フェニール(ザロール)	フ ロ キ シ ン	サリチール酸フィゾスチグミン(エゼリン)	鹽酸ピロカルピン(ピロカルピン)
難	不	不	一	一	一	不	難	不	易	一	易
溶	溶	溶	一	一	一	溶	溶	溶	溶	一	溶
不	難	不	不	不	不						易
溶	溶	溶	一	一	一	一	一	一	一	一	一
溶	溶	溶	一	一	一	一	一	一	一	一	一

木 タ ー ル	醋 酸 鉛 (鉛 糖)	酸 化 鉛	青色ピオクタニン(ピオクタニン)	ヂメチールアミノフェニールヂメチールピラツ オロン(ピラミドン)	フェニールヂメチールヒラツオロン(アンチピ リン)	サリチール酸フェニールヂメチールピラツオロン (サリピリン)	レ ゾ ル チ ン	溶性サツカリン(サツカリン)	白 糖	乳 糖	人工カルルス泉鹽(カルルス泉)
難		不	易					易			易
溶	一	溶	溶	一	一	一	一	溶	一	一	溶
可	三	不	易	易	易	易		易	五	七	不
溶	九	溶	溶	溶	溶	溶	一	溶	七	七	溶

藥物溶解一覽表

ト	リ	ク	レ	ゾ	ー	ル	一：五〇	易	溶					
鹽酸	ト	ロ	バ	コ	カ	イン	(ト	ロ	バ	コ	カ	イン)	易	溶
ツ	ヨ	ー	ル	不	溶	易	不	溶	易					
白	色	ワ	セ	リ	ン	不	溶	不	溶					
黄	色	ワ	セ	リ	ン	不	溶	不	溶					
ク	ロ	ー	ル	亞	鉛	易	溶	易	溶					
ヨ	ー	ド	亞	鉛	易	溶	易	溶	溶					
酸	化	亞	鉛	(亞	鉛	華)	不	溶	不					
ス	ル	フ	ォ	石	炭	酸	亞	鉛	一：二					
硫	酸	亞	鉛	(皓	礬)	一：〇・六	不	溶	一：二					

備考
 一 本表ノ溶解度ハ單ニ實用ヲ目的トナシ學術上ノ見地ヨリ掲ケタルモノニ
 アラス隨テ必要アルモノハ溶解比ヲ示シ其ノ他ハ不溶、難溶、可溶、易溶
 等ノ字句ヲ以テシ或ハ全ク之ヲ削除セルモノアリ
 二 溶解比一、二、一〇・六等ハ藥物ノ各一分カ溶解藥二分或ハ〇・六分ニ
 溶解スルコトヲ示ス

附表第七 配合禁忌藥一覽表

主藥	亞砒酸	鹽酸	サリチール酸及其製劑
製劑	水劑	水劑	水劑
配合藥	<ul style="list-style-type: none"> 一 アルカリ類 二 酸化鐵 	<ul style="list-style-type: none"> 一 アルカリ類 二 エキス類 三 アルカロイド 四 有機酸鹽類 	<ul style="list-style-type: none"> 一 過マンガン酸カリウム 二 ヨードカリウム 三 石灰水
變化	<ul style="list-style-type: none"> 水ニ溶解シ難キ亞砒酸マグネシウムヲ化生ス 亞砒酸酸化鐵ヲ生ス 	<ul style="list-style-type: none"> 鹽類ヲ化生シ各自固有ノ効力ヲ失フ 其成分多クハ分解ス 右同 有機酸ヲ遊離シテ効力ヲ失ハシム 	<ul style="list-style-type: none"> 分解脱色ス 分解ヲ起ス サリチール酸ノ「カルチウム」鹽ヲ化生シ白キ沈澱ヲ現ハス

配合禁忌藥一覽表

アンチピリン	散水劑	一 亞硝酸化合物 二 サリチール酸ナトリウム 三 甘汞 四 抱水クロラール	ニトロソアンチピリンヲ化生シ綠色トナル 散劑トナシ研和セハ濃稠ノ塊ヲナス 猛毒ナル有機性水銀化合物ヲ化生ス 油狀ノ「クロラールアンチピリン」ヲ化生ス
タンニン酸及其製劑	水劑	一 蛋白質、膠質、澱粉、 二 金屬鹽類 三 石灰水 四 炭酸アルカリ 五 アルカロイド	化合シテ膠狀ノ物質ヲ生ス 難溶性ノ鹽ヲ化生シ且其金屬ヲ析出シテ著シク著色ス 分解シテ初メ灰白色次ニ暗綠色終ニ黑變スル沈澱ヲ生ス 分解シテ初メ無色次ニ綠色終ニ黑色トナル 「タンニン」酸「アルカロイド」ヲ化生シテ灰白色乃至黃色ノ沈澱ヲ生ス 對應スル銀鹽ヲ作り白色ノ沈澱ヲ生ス、常水ニアリテモ此ノ變化ヲ生ス、銀ヲ還元シテ黑變ス
硝酸銀	散水劑	一 硫酸、鹽酸及其鹽類 二 醋酸、酒石酸、青酸及其製劑 三 ヨード、ブローム及其鹽類	對應スル難溶性ノ銀鹽ヲ化生シ黃色ノ沈澱ヲ生ス

次硝酸蒼鉛	散劑	一 タンニン含有物 二 硫黃	銀鹽ヲ化生シ或ハ分解シテ銀ヲ析出ス 直ニ變化ナキモ漸次分解シテ帶黃白色トナル 漸次硫化蒼鉛ヲ化生ス
石灰水	水劑	一 無機及有機酸 二 炭酸鹽類 三 アムモニア及其鹽類 四 金屬鹽類 五 タンニン酸及其製劑 六 昇汞 七 アルカロイド含有物	中和シテ鹽類ヲ化生ス 分解ヲ起シテ沈澱ヲ生ス 多クハ石灰ヲ沈澱ス 水酸化金屬ノ沈澱ヲ生ス 分解シテ漸次黑變ス 徐々ニ分解シテ黑變ス アルカロイドヲ析出ス
鹽酸キニーネ	散水劑	一 レゾルチン 二 タンニン含有物	分解シテ一種ノ化合物ヲ生ス 分解シテ一分タンニン酸キニーネヲ化生ス

抱水クロラール		塩酸コカイン		コフエイン	
水剤		水剤		水剤	
一 水溶液トナシ置クトキ	徐々ニ分解ス	一 アルカリ鹽類	コカインヲ遊離シテ白キ沈澱ヲ生ス	一 ヨード鹽酸	ヨード化合物ヲ化生シ變色ス
二 アンチピリン	油状ノクロラールアンチピリンヲ化生ス	二 ヨード鹽類	分解シテクロラールアムモニアヲ化生ス	二 アルカリ鹽類	其ノ成分ヲ變化ス
三 炭酸アルカリ	分解シテクロロフォルムヲ生ス	三 タンニン含有物	分解シテクロロフォルムヲ化生ス	三 タンニン含有物	タンニン酸コフエインヲ化生シ白澱ヲ生ス
四 アムモニア鹽	分解シテクロラールアムモニアヲ化生ス	一 ヨード鹽類	コカインヲ遊離シテ白キ沈澱ヲ生ス	一 ヨード鹽類	ヨード化合物ヲ化生シ變色ス
五 有機酸ノアルカリ鹽類	分解シテクロロフォルムヲ化生ス	二 ヨード鹽類	コカインヲ遊離シテ白キ沈澱ヲ生ス	二 ヨード鹽類	其ノ成分ヲ變化ス
一 アルカリ鹽類	分解シテクロロフォルムヲ化生ス	三 タンニン含有物	タンニン酸コカインヲ化生シ沈澱ヲ生ス	三 タンニン含有物	タンニン酸コフエインヲ化生シ白澱ヲ生ス
二 ヨード鹽類	コカインヲ遊離シテ白キ沈澱ヲ生ス	一 ヨード鹽酸	ヨード化合物ヲ化生シ變色ス	一 ヨード鹽酸	ヨード化合物ヲ化生シ變色ス
三 タンニン含有物	タンニン酸コカインヲ化生シ沈澱ヲ生ス	二 アルカリ鹽類	其ノ成分ヲ變化ス	二 アルカリ鹽類	其ノ成分ヲ變化ス
一 醋酸カリウム	淡キ肉色ノ沈澱ヲ生ス	三 タンニン含有物	タンニン酸コフエインヲ化生シ白澱ヲ生ス	三 タンニン含有物	タンニン酸コフエインヲ化生シ白澱ヲ生ス

キナ皮煎劑		ヂギタリス葉	
煎劑		散浸劑	
一 アルカリ鹽類	アルカロイドヲ遊離シテ灰色ノ沈澱ヲ生ス	一 過クロール鐵	黄褐色凝膠状ノ塊トナル
二 ヨード鹽類	白キ沈澱ヲ生ス	二 稀硫酸類ヲ加フレハ	種々ノ分解産物ヲ化生ス
三 ヨード鹽類	白キ沈澱ヲ生ス	三 稀硫酸類ヲ加ヘ温ムレ	種々ノ分解産物ヲ化生ス
四 硫酸マグネシウム	キニーネト化合シ白キ沈澱ヲ生ス	四 タンニン含有物	灰白色ノ濁濁ヲ生ス
五 亞砒酸カリウム液	其中ニ含マルル炭酸アルカリニヨリテ分解シテ沈澱ヲ生ス	一 酒精浸液又ハ其溶液ニ温稀酸類ヲ加フレハ	毒性ヲ有スルモノヲ化生シ濁濁ス
六 次亞磷酸鹽	汚灰色ノ沈澱ヲ生ス	二 稀硫酸類ヲ加ヘ温ムレ	種々ノ分解産物ヲ化生ス
七 タンニン含有物	キニーネト結合シ白キ沈澱ヲ生ス	三 稀硫酸類ヲ加ヘ温ムレ	種々ノ分解産物ヲ化生ス
八 赤酒	キナーネト結合シ白キ沈澱ヲ生ス	四 タンニン含有物	灰白色ノ濁濁ヲ生ス

アラビアゴム		散水劑	
二 鉛鹽類	分解ス	一 酸類及酸性鹽	濃厚液ニシテ殊ニ加温スレハ亞酸化汞及金屬水銀ヲ析出シテ黑變ス
三 酒精製劑及エーテル製	膠狀物ヲ化生ス	二 炭酸アルカリ及石灰水	亞酸化汞鹽ヲ化生シ黑變ス
四 硼砂	白色膠樣物ヲ化生ス	三 アンチピリン	有毒ナル化合物ヲ化生ス
甘		四 ヨード鹽類	亞ヨード汞ヲ化生シ猩紅色ノ沈澱ヲ呈ス
汞		五 ヨード及其製劑	ヨード汞及昇汞トナル
散水劑		六 エキス類	昇汞及水銀ヲ析出シテ黑變ス
一 アムモニア及其鹽類	アムモニアヲ分解シテ爆發シ易キヨード	七 白糖、モルヒネ含有物 其他還元性ヲ有スル物	時日ヲ經ルニ從ヒ漸次昇汞及水銀ヲ析出シテ黑變ス
二 金屬鹽類	ヨード化合物ヲ化生シ多クハ黃色ノ沈澱		

ヨード		水劑	
三 澱粉含有物	ヨード澱粉ヲ化生シ藍變ス	醋酸カリウム	水劑
四 脂肪油及揮發油	分解シテ變色ス	プロームカリウム	水劑
五 アラビアゴム漿	分解シテ黒褐色ニ變ス	プロームナトリウム	水劑
一 鹽酸類	稀薄ナレハ徐々ニ濃厚ナレハ直ニ其鹽類ヲ化生シ醋酸ヲ遊離ス		
二 キナ及其製劑	淡キ肉色ノ沈澱ヲ生ス		
三 抱水クワロール	分解ス		
四 赤酒	灰紫色不明ノ物質ヲ沈澱ス		
一 鹽酸類	適應セル酸ノカリウム又ハナトリウム鹽ヲ化生ス		
二 水銀鹽類	水銀ノカリウム又ハナトリウム鹽ヲ化生シ潤濁ス		
三 銀鹽類	プローム化銀ノ灰白色ノ沈澱ヲ化生ス		
一 サリチル酸及其製劑 鹽酸及酸性鹽	ヨードヲ遊離シ褐色トナル		
二 硝酸銀	黃色ヨード化銀ヲ沈澱ス		

ヨードナトリウム	鹽酸モルヒネ	重炭酸ナトリウム
ヨード化合物ヲ化生シ變色ス	ヨード化合物ヲ化生ス	アルカロイドヲ析出シテ潤濁ス
其金屬ノヨード化合物ヲ沈澱ス	ヨード化合物ヲ化生ス	アルカロイドヲ析出シテ潤濁ス
ヨード化合物ヲ化生ス	モルヒネヲ遊離シ白色ノ沈澱ヲ生ス	アルカロイドヲ析出シテ潤濁ス
一ヨード鹽類	金屬ヲ還元シテ灰褐色ニ變ス	炭酸ヲ發生シツツ鹽類ヲ化生ス
二タンニン含有物	炭酸ヲ發生シツツ鹽類ヲ化生ス	分解ス
三重金屬鹽類	炭酸ヲ發生シツツ鹽類ヲ化生ス	分解ス
一酸類、酸性鹽類	炭酸ヲ發生シツツ鹽類ヲ化生ス	分解ス
二杏仁水、プルメス水	炭酸ヲ發生シツツ鹽類ヲ化生ス	分解ス
三アルカロイド含有物	アルカロイドヲ析出シテ潤濁ス	アルカロイドヲ析出シテ潤濁ス
四タンニン含有物	分解シ漸次綠色ニ變ス	分解シ漸次綠色ニ變ス
五金屬鹽酸	金屬ヲ析出シテ變色ス	金屬ヲ析出シテ變色ス
一炭酸アルカリ	アルカロイドヲ析出シテ潤濁ス	アルカロイドヲ析出シテ潤濁ス
二金屬鹽類	還元セラレテ其金屬ヲ析出シ褐色トナル	還元セラレテ其金屬ヲ析出シ褐色トナル

阿片	醋酸鉛	吐根浸劑
散劑	散水劑劑	散水劑劑
三 タンニン含有物	一 タンニン含有物	一 タンニン含有物
四 ホミカ及其製劑	二 石灰水	二 アルカリ鹽、炭酸アルカリ
五 ヨード、ヨードカリウ	三 阿片及其製劑	共ニアルカロイドヲ析出シ灰白色ノ沈澱ヲ生ス
一 ゴム含有物	四 ヨード、ヨードカリウ	共ニアルカロイドヲ析出シ灰白色ノ沈澱ヲ生ス
二 石灰水	五 炭酸鹽類	共ニアルカロイドヲ析出シ灰白色ノ沈澱ヲ生ス
三 阿片及其製劑	六 タンニン含有物	共ニアルカロイドヲ析出シ灰白色ノ沈澱ヲ生ス
四 ヨード、ヨードカリウ	七 鐵酸類	共ニアルカロイドヲ析出シ灰白色ノ沈澱ヲ生ス
五 ヨード、ヨードカリウ		共ニアルカロイドヲ析出シ灰白色ノ沈澱ヲ生ス
六 タンニン含有物		共ニアルカロイドヲ析出シ灰白色ノ沈澱ヲ生ス
七 鐵酸類		共ニアルカロイドヲ析出シ灰白色ノ沈澱ヲ生ス

過酸	水劑		煎劑				
	二 アムモニア及其鹽類	三 有機酸及其鹽類	一 酸類	二 アルカロイド含有物	三 金屬鹽類	四 石灰水	五 蛋白質類
過 カマ リン ウガ ムン	分解シテ沈澱ヲ生ス	之ヲ酸化シ爆發スルコトアリ	分解ス	沈澱ヲ生シ白濁ス	分解シテ變色ス	分解シテ漸次黒變ス	凝結シテ膠狀ノ塊ナル
ウワ ウル シ葉							

考備

一 禁忌藥ノ變化ハ其ノ詳細ヲ説明シ難キヲ以テ其ノ大要ヲ示スニ止メタリ

附表第八

配合危険藥一覽表

主藥	配合藥	變化
クロロム酸、重クロ ム酸カリウム ピクリン酸及ピク リ ン酸鹽類	グリセリン、硫黃、 揮發油其他ノ酸化セ ラレ易キ有機性物質	忽チ或ハ少時ノ後爆發ヲ起シテ有機物 發火スルニ至ル
硫 酸	テレピン油	激烈ノ勢ヲ以テ相反應シ爆發ス
ク ロ ー ル 石 灰	硫酸、グリセリン、 揮發油類、矽砂、硫 黃、脂肪類、軟膏類	爆發又ハ發火ス
次亞 磷 酸 カル チ ウ ム	クロール酸カリウ ム、ヨード酸カリウ ム、過マンガン酸カ リウム、クロール石 灰	次亞磷酸ノ酸化ニヨリテ自燃性ノ磷化 水素ヲ生シ爆發又ハ發火ス

ヨード及ヨード鐵	アムモニア含有物、揮發油	爆發或ハ發火スルコトアリ
クロール酸カリウム	一 硫黃、ヨード、炭、鐵粉、還元鐵、グリセリン、酒精、石炭酸、サリチル酸、チモール、白糖、澱粉、蜂蜜、タンニン含有物	衝撃、壓迫、加熱等ノタメ恐ルヘキ爆發ヲ起ス
ヨードカリウム	二 次亞磷酸鹽類、亞硝酸鹽類及亞酸化鐵鹽類	單ニ混合スルノミニテ爆發又ハ發火ス
過マンガン酸カリウム	亞硝酸鹽類、酸性ノ丁幾類	密閉器中ニ貯フルトキハ爆發スルコトアリ
過マンガン酸カリウム濃稠液	硫黃、硫黃含有物、酒石酸、枸橼酸、タリチール酸等	爆發若ハ發火ス

硝石	硫黃及其含有物、有機酸及其鹽類	發火ノ虞アリ
硝酸	種々ノ物質、(テレピン油等)	爆發若ハ發火ス
過マンガン酸カリウム濃稠液	グリセリン、酒精、舎利別油、エキス、舎	分解シ爆發ノ虞アリ

附表第九 藥物貯藏法一覽表

品名	毒藥									
	硝子瓶	共栓硝子瓶	密栓密閉	遮光	冷所	冷暗所	除濕器	硝子管閉	金屬罐	要摘
亞砒酸	○									
鹽酸アポモルヒネ	○		○	○						
硫酸アトロピン	○		○	○						
サルバルサン (代用品共)								○		
アローム水素酸ホマトロピン	○			○						
昇汞	○			○						
昇汞クロールカリウム	○			○						
チアソン	○			○						

酸化チアン汞	○									
黄色酸化汞	○		○	○						
赤色酸化汞	○		○	○						
白降汞	○			○						
サリチール酸汞	○		○	○						
溶性サルチール酸汞	○		○	○						
亞砒酸カリウム液	○									
滅菌鹽酸モルヒネ液				○						
鹽酸モルヒネ	○		○	○						
ネオサルバルサン (代用品共)								○		
亞砒酸泥膏	○									
鹽酸アポモルヒネ錠			○							